

2019年度

事業報告書

社会福祉法人 正和会

目 次

1. 法人及び施設の概要	1
2. 法人の沿革	2
3. 法人	5
4. 介護老人福祉施設まきの苑（特別養護老人ホーム）	8
5. 短期入所生活介護事業所まきの苑（ショートステイ）	17
6. ケアハウスまきの苑	19
7. 介護老人保健施設ルポゼまきの	22
8. 認知症対応型共同生活介護事業所グループホームシャルルまきの	32
9. 地域密着型通所介護事業所まきの苑（デイサービス）	36
10. 認知症対応型通所介護事業所まきの苑（デイサービス認知症型）	40
11. 通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの（デイケア）	43
12. 訪問介護事業所 音和舎 布乃香（ホームヘルプサービス）	46
13. 居宅介護支援事業所 音和舎 彩羽	49
14. 通所介護事業所 音和舎 善	54
15. 通所介護事業所 音和舎 利休	57
16. 栄養課	60
17. 総務部	63
18. 各種委員会の活動内容と活動実績報告	64
19. ボランティアの活動状況について	69
20. 人事労務管理	70
21. 外部研修派遣状況	75

1. 法人及び施設の概要

法人本部

法人設立許可 平成 5 年 3 月 31 日 奈良県指名高福第 400 号
奈良県五條市大沢町 5 番地の 25
法人設立 平成 5 年 4 月 7 日

まきの苑

奈良県五條市大沢町 5 番地の 25
敷地 6,335.20 m²
建物 6,912.39 m²
主建物（鉄筋コンクリート造り瓦葺 3 階建） 6,823.04 m²
機械室（鉄筋コンクリート一部鉄骨瓦葺平屋建） 70.00 m²
物置（木造瓦葺き平屋建） 19.35 m²

ルポゼまきの

奈良県五條市大沢町 9 番地の 8
敷地 4,832.03 m²
建物 5,116.95 m²
主建物（鉄筋コンクリート造陸屋根 5 階建） 5,004.81 m²
機械室（鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建） 112.14 m²

まきの苑ラコントレ

奈良県五條市大沢町 5 番地の 25
建物 4,791.74 m²
主建物（鉄筋コンクリート造陸屋根 6 階建） 4,770.94 m²
物置・機械室（鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建） 20.80 m²

音和舎利休

奈良県五條市田園 4 丁目 50 番 4
敷地 495.53 m²
建物 187.75 m²
主建物（木造平屋建て） 187.75 m²

2. 法人の沿革

平成5年3月31日	社会福祉法人正和会 設立
平成6年2月1日	在宅介護支援センターまきの苑事業開始（五條市より受託）
平成6年3月1日	ホームヘルプサービス事業開始（五條市より受託）
平成6年3月14日	特別養護老人ホームまきの苑事業開始 50床 ケアハウスまきの苑事業開始 30床
平成6年4月1日	デイサービス事業B型事業開始 15名 (五條市・旧西吉野村)
平成7年3月1日	特別養護老人ホームまきの苑 50床増床 定員 100床 ケアハウスまきの苑夫婦部屋 8床増床 定員 46床
平成8年4月1日	緊急通報装置センター事業開始 (五條市・旧西吉野村より受託)
平成9年6月1日	身体障害者デイサービス・ショートステイ事業開始 (五條市より受託)
平成9年9月1日	訪問入浴サービス事業開始（五條市より受託）
平成10年12月1日	老人保健施設ルポゼまきの事業開始 80床（内ショート10床）・デイケア20名 特別養護老人ホームまきの苑 30床増床 定員 130床
平成11年8月4日	介護サービス提供事業所事業許可
平成11年10月1日	居宅介護支援事業所ルポゼまきの事業開始
平成12年4月1日	介護サービス提供事業所事業開始 ・介護老人福祉施設まきの苑 ・短期入所生活介護事業所まきの苑 ・通所介護事業所まきの苑 ・訪問入浴介護事業所まきの苑 ・介護老人保健施設ルポゼまきの ・短期入所療養介護事業所ルポゼまきの ・通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの ・訪問介護事業所ルポゼまきの
平成13年9月1日	ショートステイ4床を特別養護老人ホーム床へ転換 (定員 入所 134床 ショートステイ 20床)
平成14年6月1日	ショートステイ3床を特別養護老人ホーム床へ転換 (定員 入所 137床 ショートステイ 17床)
平成18年4月1日	介護予防サービス事業開始 ・介護予防短期入所生活介護 ・介護予防通所介護 ・介護予防訪問入浴介護 ・介護予防短期入所療養介護

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防通所リハビリテーション ・介護予防訪問介護
平成 19 年 2 月 1 日	訪問入浴介護事業及び介護予防訪問入浴介護事業の休止
平成 19 年 3 月 1 日	特別養護老人ホームまきの苑ラコントレ 50 床増床 (入所 187 床 ショートステイ 17 床)
	認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム シャルルまきの事業開始 (定員 1 ユニット 9 床)
平成 19 年 4 月 1 日	居宅介護支援事業所まきの苑事業開始
平成 19 年 8 月 1 日	認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム シャルルまきの 1 ユニット 9 床開始 (定員 2 ユニット 18 床)
平成 23 年 4 月 1 日	認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム シャルルまきの 「短期利用型」事業開始
平成 23 年 10 月 1 日	通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの 定員 20 名から 26 名に変更
平成 24 年 4 月 1 日	通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの 定員 26 名から 35 名に変更
平成 26 年 12 月 1 日	通所介護事業所音和舎 善 事業開始
平成 29 年 4 月 1 日	『居宅介護支援事業所まきの苑』『居宅介護支援事業所ルポゼまきの』統合、移転。事業所名『音和舎彩羽』に変更 『訪問介護事業所ルポゼまきの』移転。事業所名『音和舎布乃香』に変更
平成 29 年 10 月 5 日	音和舎 一休 事業開始
平成 30 年 5 月 1 日	通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの 定員 35 名から 50 名に変更
平成 30 年 11 月 1 日	通所介護事業所音和舎 利休 事業開始
平成 31 年 4 月 1 日	『通所介護事業所まきの苑』縮小。事業所名『地域密着型通所介護事業所まきの苑、五條市介護予防・日常生活支援総合事業まきの苑』に変更。

<法人理念>

われわれ正和会は地域における最高の福祉の充実を目指し日々精進することを旨とする。

<法人方針>

われわれ正和会は単なるサービス業として受け止めるのではなく、福祉という崇高なる理念に基づき情報も含むあらゆるサービスの提供改善に努めます。

【5年後のビジョン】

地域とつながる正和会 ～ 交わる世代・支える暮らし・楽しむ未来 ～

- ・どの世代からも「つながる」法人、地域の中で世代を超えて人と人との「つながる」ことを支援する法人を目指します。
- ・地域での暮らしの中に「安心できる」選択肢を増やし、地域の課題解決や生活の質の向上に役立つ、身近に存在する法人を目指します。
- ・ご利用者、地域住民、職員等関わる人の楽しい未来に向けて努力する法人を目指します。

<中長期事業計画>

1. 利用者・家族満足度の向上
 - (1) 満足度の向上
2. 地域信頼度の向上
 - (1) 地域貢献事業の拡大
 - (2) 法人機能の拡大
3. 経営基盤の安定
 - (1) 収入の確保
 - (2) 費用削減
4. 業務改善
 - (1) 業務の効率化
 - (2) 品質の維持・向上
5. 人材確保
 - (1) 新規採用の開拓
6. 人材定着
 - (1) 働きやすい職場作り
 - (2) 働きがいのある職場作り
7. 人材育成
 - (1) ヒューマンスキルの向上
 - (2) 専門スキルの向上
 - (3) コンセプトチュアルスキルの向上

<2019年（令和元年）度事業報告>

3. 法人

1. 顧客の視点

今年度もアンケートを実施した。回収率は上がったが回答内容に大きな変化はなく、概ね満足していただけているようである。制度、サービスについての説明が不十分であることに起因するご指摘が見られたため日頃からの説明方法、内容を見直した。また、回答者からすれば実態が不明で回答できないというご意見もあったため、新年度はアンケートの目的から見直し、サービスの改善、質の向上に反映しやすい満足度の把握方法を検討、実施する。

リスクマネジメントについては、ご利用者、ご家族の安心と安全はもとより、事業継続の観点から取り組みを推進しているが、事故の予兆となる小さな芽を放置しない風土作り、未然に防ぎ起きた際には迅速に対応する体制は構築段階にある。随時見直しながら体制そのものも改善していく必要があるが、昨今は「カスハラ」という言葉も耳にするよう、リスクには色々なものが含まれるので、引き続き、組織の体制、職務を含めた全体の統治方法を見直し、体制の強化を図りたい。

地域に目を向けた取り組みとして、従来の貢献事業の継続実施に加え、今年度は高齢者の社会参加支援に向けた取り組みとして移動手段の確保に着手した。具体的には自宅から公共交通機関までの移動を補うためのバスの運行を一部地域で開始、地元自治会の方にも協力していただき、協議を重ねながら運行している。地域住民の方々に、日常にある選択肢として認知、利用してもらうには、利便性の向上、心理的抵抗の払拭など課題はあるが、一步を踏み出したことで地域との繋がりも増え、移動手段以外の生活課題も聞き取ることができ、それが今後の事業計画に反映できると考える。また、フィットネスマシンの一般利用など、介護保険対象者だけでなく、世代を問わない事業を実施していることで、これまで縁のなかった世代との関りができ、健康に関する意識啓発や福祉業界を知ってもらう良い機会になっていると捉えている。

非常食を活用した小学校への出前授業は、親子参加型での依頼を受けるなど、前年度に引き続き訪問、実施することができた。

これらの活動が広報活動も担っているが、より広く情報を発信するための広報活動の見直しはできなかった。地道な活動による認知度、信頼度の向上、身近な人の口コミの信用性は大きなものがあり、ありがたいことではあるが、それだけに頼るのではなく、法人自らが積極的に対象者、内容によって効果的な広報ができるよう手段の見直しを進めたい。

また、地域での生活課題の把握と解決も、これらの活動を通じて収集した情報をもとにできることから実施している。新年度は、法人全体で課題を収集、整理し事業として取り組める土台作りをしたい。

小規模多機能型施設は建築に着手、新年度中の事業開始を目指し準備をしているところである。この事業所の完成でもって一つの区切りとし、5年後のビジョンの達成に向けた取り組みの検証

と次の5年後に向けたビジョンの設計に着手する予定である。

2. 財務の視点

前年度に引き続き、人員獲得、配置状況と今後の事業継続を検討する上で必要と判断し、各事業所で業務改善に重点を置き運営したため、稼働率は当初目標には及ばなかった。今後、長期にわたりご利用者の安心と安全をしっかりと確保した上で「ここがあって良かった」と思っていただけの法人を目指すためにも、稼働率を意識した上で、人員配置、業務内容、時間などを見直し、改善案を試験的に実施するなどの取り組みを継続し、他の制度構築とあわせて財務基盤を整えたい。

収入の確保に向けた内部での連携強化については、事業所間の情報共有方法を改善しながら、ご利用者にとって状況に応じた最適な事業所の利用が可能になるような連携方法を模索した。法人全体を意識した連携で円滑なサービス利用、事業所移行を目指したい。また、外部機関との強化については、事業所単位での関係性は構築されている。今後はさらに相互理解を深め、ご利用者の利益に資する動きができる関係性を育むことが目標である。

補助金の活用については、新規のものはなかった。しかし、補助金対象となる活動をしているという証拠としても引き続き活用したい。費用の削減については、契約時の見直しなどで水道光熱費に関しては一定の効果はあった。新年度は、モノに関する経費削減を目指し、現場での物品使用状況、管理方法の見直し、品質を維持向上させながら価格を抑えるよう契約に関する手続きの見直しを進めたい。

3. 業務プロセスの視点

業務の効率化を目指し、IT関連介護機器の導入を進める中で、ナースコールの老朽化への対応が発生したため、今年度はこれの入れ替えから着手した。導入検討から入れ替え完了まで一年を要したことと、記録ソフトとの連動で業務の効率化を図ることを予定しており、記録ソフトの更新が新年度になるため、定着及び導入後の効果測定は新年度に持ち越す。

機器の導入、更新とともに進めたマニュアルの見直し、運用は、『断捨離プロジェクト』として職員に意識付けることはできた。今後は、常に更新する体制で業務改善を推進したい。

関係諸規程、法人内の共通マニュアル等の文書整理は部分的に実施したが、全体の相関関係、内容の周知徹底や今後の一斉更新の体制構築には至らなかった。人材育成、組織体制の維持にも大きく関与することではあるが、規程やマニュアルについて周知、教育方法の見直しが必要であり、新年度での課題とする。

建物及び設備の老朽化対応は未着手のままである。新年度計画に盛り込み複数年で進めていく。

4. 人材育成の視点

採用活動に関して、学校等の訪問先とは「顔の見える関係」は構築でき、関係各所から実習施設登録や就職説明会への参加依頼などももらえるようになり、次の課題は確実に就職に結びつけ

る手を打つことである。価値観の変化などに敏感になり、「ここで働いてみたい」と思える PR 方法を実践したい。

採用に関する広報に関しては、ホームページの内容を刷新、就職説明会等で使用するパンフレットも対象者毎に内容を変えて作成し活用しているところである。現職員のインタビュー記事や笑顔を掲載していることから、職員の励み、自慢になることも願っている。

採用ルート拡大の一つとして取り組んできた技能実習制度の運用については、12月にベトナム人実習生3名が施設に配属となった。準備段階から受け入れが組織に与える影響は出始めていたが、実際に入職して「技術移転」のための指導方法の統一、また本人の学ぼうとする姿勢など期待通り良い影響をもたらしてくれている。外国人材の活用については、技能実習制度だけにとらわれず広く取り組む予定である。また、外国人材受け入れを通じて進めてきた対応マニュアルの作成、業務内容の整理を転用し、障害者の雇用促進やひきこもり（若者）支援などに結びつけ多様な人材の集う職場にしたい。

人材獲得に向けた取り組みを推進する一方、離職率は前年度を上回った。個別の事情を把握して随時対策を立てること、全体的な定着に向けた計画は実施してきたが、現場の状況、環境変化への対応なども進める中で、職員のケアについて法人全体で施策を実行しても効果が出るまでには時間がかかってしまう。結果として、施策を浸透しきれず、いずれも中途半端な状況で年度を終了することになってしまった。この過程で浮き彫りになって課題は、組織のコミュニケーション方法である。これについては人事制度の見直しに含めて、「働きやすい、働きがいのある職場」を目指し、個々の強みを生かした適材適所の配置を可能にする制度構築を目指したい。

人材育成に関しては、年度計画は一通り実行できた。基本行動の意識付けはできたが、その内容の浸透にはまだ課題がある。また、専門スキル、コンセプチュアルスキルの向上を目指し研修など開催したが習熟度の計測ができていないため、より細やかな個々の能力管理ができるシステムを導入し、個別のキャリア管理を進める予定である。

人材に関する取り組みの中で共通の課題は「キャリアの可視化」である。職種、勤続年数、働き方に応じたキャリア像が描きにくいいため、目標を設定し自発的な能力開発への動機づけが弱いと思われる。人材育成に関する規程の整備は完了したので、わかりやすく周知し、「こうなりたい」という思いをもって働く風土を作りたい。

4. 介護老人福祉施設まきの苑（特別養護老人ホーム）

特別養護老人ホームまきの苑は、平成31年2月より将来的な職員の人員不足を補うために事業の再編成を進めました。特に認知症専用棟の入居者様には、安全・安心を担保しつつ、より充実したケアが提供できる体制（15床減）を整えました。事業の再編成にともない本館の1フロアを医療的ニーズの高い専用のフロアとし19名の入居者様の看取り介護を終えました。

前年度と大きく異なる点は、複数の疾患がある重度の方は入退院を繰り返されることが増え、回復されることなく療養型施設等へ転居されたことでした。その度の環境変化でADL（日常生活動作）が低下しないよう多職種共同でミニカンファレンスの機会を増やすよう努めました。

職員の人材育成に関しましては、正和会基本行動に則って行動できるよう自己チェック方式で内容の理解を深めました。また、昨年12月に外国人技能実習生3名が本館各フロアへ配属となり、基本の介護技術の見直しができました。年間を通して基本行動から入居者の皆様に安心していただけるよう「不適切なケア」の改善に努め、「高齢者虐待防止法」を学ぶ機会を増やしました。

1. 利用者・家族満足度の向上

（1）満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善（令和元年7月）
満足度 68.1%（満足、大満足の割合 前年度比：-5.5%）
改善結果報告済み、継続して改善中
- ・リスクマネジメント：ヒヤリハットの啓発
苦情クレーム対応、高齢者虐待防止法の学習
- ・個別ケアができる環境作り：ユニットケア調査訪問、改善策実践

2. 地域からの信頼度の向上

（1）信頼度の向上

- ・広報の強化：ブログ掲載（16件） ・施設見学会：随時
- ・家族会の開催（4月、9月、12月）

3. 経営基盤の安定

（1）収入の確保

- ・稼働率の維持：入所 84.6%、ショート 103.6%
- ・各種加算の取得（個別加算状況表参照）

（2）費用削減

- ・残業時間の削減：+250万円
- ・多様な勤務体制の活用：12勤務区分を活用中
- ・経費の削減 光熱費：-83万円
オムツ：-36万円

4. 業務改善

(1) ケアの質の向上

- ・終末期介護の充実：医療ニーズの高い専用フロアを整備（個別加算状況表参照）
- ・重度化防止 入院述べ人数前年度比：-18人
入院述べ日数前年度比：+215日
- ・自立支援介護：要介護度軽減 平均介護度前年度 3.9維持

(2) 業務の効率化

- ・介護機器導入：コミュニケーションロボット『PALRO』の活用
マッスルスーツ 6台導入（腰痛予防）
- ・改訂マニュアルの実践：外国人技能実習生の指導

5. 職員個々のレベルアップ

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぷらんすいぶす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底
（達成率 80%）

(2) 指導力の強化

- ・外国人技能実習生、新人職員へのOJT指導：フレンドシップ制度の活用
- ・介護プロフェッショナルキャリア段位制度：アセッサーが他施設技能実習生を評価

6. 人材の定着

(1) 働きやすい職場環境作り

- ・称賛制度：人を認める、褒める風土の醸成
- ・有給休暇取得率：31.74%
- ・面談強化：計画的な面接の実施

年間稼働状況

定員	入所延人数	1日平均入所人数	稼働率	平均介護度
187名	57,866人	158.1人	84.6%	3.9

入院状況

月別	区分	入院	
		人数	日数
	H31.4	16	240
	5	7	143
	6	9	155
	7	20	267
	8	26	346
	9	13	230
	10	15	215
	11	19	241
	12	18	179
	R2.1	23	215
	2	15	248
	3	16	214
	計	197	2,693

待機者の状況

R2.3.1

区分		県内	県外	合計
待機者人数		75	7	82
待機場所	在宅	21	2	23
	病院	14	4	18
	老健	30	0	30
	養護	1	0	1
	その他	9	1	10
待機期間	1月～6月	39	1	40
	6月～1年	4	1	5
	1年～	32	5	37

入所者要介護認定別一覧表

R2. 3. 31

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	1	1	12	7	3	24人
女	2	5	44	52	40	143人
計	3	6	56	59	43	167人

要介護度別延人数（年間）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
延人数	1, 223	1, 577	17, 337	19, 226	18, 472	31	57, 866

年齢性別状況表

R2. 3. 31

年齢性別	40～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計	平均年齢
男	1	0	0	1	3	5	14	24人	88. 3
女	1	1	2	7	21	41	70	143人	89. 1
計	2	1	2	8	24	46	84	167人	88. 7

個別加算の状況

実施延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看取り介護加算(1)	54	27	27	58	0	36	27	27	0	27	7	9	299
看取り介護加算(2)	4	4	2	6	0	6	2	4	0	3	4	2	37
看取り介護加算(3)	2	2	1	3	0	3	1	2	0	2	2	1	19
経口維持加算(Ⅱ)	81	78	78	80	79	76	74	72	69	69	67	70	893
外泊加算	42	21	43	65	122	38	54	60	56	89	66	86	742
初期加算	258	77	95	165	165	138	168	62	264	157	177	323	2, 049
療養食	495	507	450	464	372	358	372	360	456	461	432	475	5, 202
口腔機能	164	167	162	166	157	159	156	153	154	151	155	161	1, 905
褥瘡マネジメント加算	48	56	44	55	52	44	51	54	46	52	51	48	601
排泄支援加算	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	19

日常生活の状況

R2.3.31

	食事			排泄			着脱衣			入浴			座位			立ち上がり			歩行		車椅子使用		体位変換		認知症人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	自操	他操	一部介助	全部介助	
男	10	9	5	1	12	9	2	12	8	0	14	8	6	8	9	4	9	9	1	5	5	11	3	7	12
女	57	50	35	9	75	60	10	85	49	1	82	61	53	46	44	32	54	58	7	32	36	69	16	49	95
計	67	59	40	10	87	69	12	97	57	1	96	69	59	54	53	36	63	67	8	37	41	80	19	56	107

※ 認知症人数（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ～Mの方）

入所前の住所地

R2.3.31

	市 町 村 名	男	女	計
県内	五條市	19	114	133
	生駒郡安堵町		1	1
	下市町	1	5	6
	吉野町		1	1
	大淀町		1	1
	桜井市		1	1
	十津川村	1	3	4
	野迫川村		1	1
	小 計	21	127	148
県外	和歌山県橋本市	2	8	10
	和歌山県伊都郡かつらぎ町	1		1
	和歌山県田辺市		1	1
	大阪府和泉市		1	1
	大阪府貝塚市		1	1
	大阪府大阪狭山市		1	1
	大阪府河内長野市		1	1
	大阪府大阪市		1	1
	広島県安芸郡府中町		1	1
	岐阜県郡上市		1	1
小 計	3	16	19	
合 計		24	143	167

日 課 表

入 居 者	時刻	職 員
	6:00	起床 (点灯) ・離床 (着替え) モーニングケア・バイタルチェック
起床・洗面・着替え 排泄 (介助)	7:00	ポータブルトイレ回収 換気 排泄介助
朝食	8:00	朝食介助 服薬介助 口腔ケア介助
口腔ケア	9:00	日誌整理・排便チェック 排泄介助・水分補給
ラジオ体操 排泄 (介助) 水分補給 (介助)	10:00	シーツ交換・朝礼・ラジオ体操
一般浴入浴・足浴・整容 (爪切り・耳掃除)	11:00	入浴介助・排泄介助 バイタルチェック・水分補給
ティータイム・歌体操・排泄 (介助) (随時)	12:00	レク等・離床介助
昼食・口腔ケア	13:00	昼食介助・服薬介助・口腔ケア介助
機械浴入浴・排泄 (介助)	14:00	入浴介助・排泄介助
ティータイム (おやつ) ・クラブ 体操・運動・レクリエーション等	15:00	水分補給・クラブ・レク等・ バイタルチェック
排泄 (介助)	16:00	ポータブルトイレセット・排泄介助
水分補給 (介助)	17:00	離床介助・水分補給
夕食・口腔ケア・ 排泄 (介助) ・着替え	18:00	排泄確認・記録・看護師・日勤者 より申し送り 終礼
水分補給 (介助)	19:00	夕食介助・服薬介助・口腔ケア介助 排泄介助
消灯	20:00	くつろぎタイム 就寝介助 (着替え)
排泄 (介助)	21:00	投薬・水分補給・排泄介助 バイタルチェック
	22:00	排泄介助
	23:00	巡回
	0:00	巡回
排泄 (介助) (随時)	1:00	排泄介助 (随時)
	2:00	巡回
	3:00	巡回
	4:00	巡回
排泄 (介助)	5:00	配茶準備 (排泄介助)

ケース記録及び
ナースコール対応

体位転換 (随時)

週 課 表

		月	火	水	木	金	土	日	備考
嘱託医回診					○		○		週2回
精神科医診察		○							月2回
歯科医診察				○					週1回
口腔ケア (歯科衛生士)		○	○	○	○	○	○		週6回
売店		※			○				週1回
シーツ交換		○	○	○	○	○	○	○	週1回
カフェまきのえん		○							週1回
入浴	一般浴	午前	午前	午前	午前	午前	午前	(午前)ショートのみ	週2回 (希望に応ずる)
	機械浴	午後	午後	午後	午後	午後	午後		週2回以上

※パン販売：第1月曜日

月 間 表

区 分	内 容	各月実施日	備 考
クラブ活動	うぐいすクラブ	週1回	ボランティア
	お茶・お花	月1回	ボランティア
	学習療法	随 時	(個人に合ったもの)
	絵手紙教室	月1回	ボランティア
	料理クラブ	月1回	
	いきいき メイクアップクラブ	月1回	
	カフェまきのえん	週1回	ボランティア
	トールペイント	月2回	
	太極拳	月2回	ボランティア
レクリエーション (フロアごとに実施)	音楽レクリエーション	月2回	
	外食	随 時	
	ショッピング		
	ドライブ		
	クッキング		
整髪	理髪	月2回	
健康管理	体重測定	月1回	
	血圧測定	月1回	降圧剤服用者のみ週1回
行事	大正琴	随時	ボランティア

年間行事実施状況

月	行 事	実施日	実 施 概 要
4月	家族会	21日	他の入所者、家族様との交流を楽しむ
5月	フロアクッキング	19日	たこ焼きを作り、焼きたてを味わう
	フロアクッキング	25日	ふわふわカステラ作りを楽しむ
6月	フロア小物作り	6日	コースター・シュシュ作りを楽しむ
	フロアクッキング	15日	アメリカンドッグを作り、焼きたてを楽しむ
	フロアクッキング	18日	焼きそば・豆腐ステーキ作りを楽しむ
	フロアクッキング	26日	たこ焼きを作り、焼きたてを味わう
7月	フロアクッキング	16日	プリン・たこ焼きを作り、楽しむ
	フロア交流 クッキング	27日	たこ焼きを作り、焼きたてを味わう
	フロアクッキング	30日	餃子・トトロ焼きを作り、焼きたてを味わう
8月	夏祭り	3日	地域の方と交流する たこ焼き・カキ氷など屋台の食べ物を楽しむ
	盆法要	12日	物故者法要、入苑者先祖の供養をする
	フロアクッキング	26日	カキ氷を作り季節を感じる
9月	フロアクッキング	2日	すいか割りをし、季節を楽しむ
	敬老祝賀会・家族会	8日	利用者の長寿の祝賀、歌謡ショー・マジックショー 職員の出し物で笑いを楽しむ
	彼岸法要	23日	物故者法要、入苑者先祖の供養をする
	五條市敬老祝賀会	27日	五條市敬老会に参加し、地域の方と交流する

月	行 事	実施日	実 施 概 要
10 月	外出	5日	五條市西中学校の運動会を観覧して昔を思い出す
	フロアクッキング	17日	秋刀魚を焼き、季節を味わう
	フロアクッキング	21日	カップケーキを作ることで料理の楽しさを感じる
	外出	29日	町家カフェゆるりでお食事を楽しむ
	外出	31日	町家カフェゆるりでお食事を楽しむ
11 月	秋穫祭	3日	法人の行事に参加し、地域の方と交流する
	フロアクッキング	29日	シフォンケーキを作り、味わう
12 月	フロアクッキング	24日	各フロアでケーキ作りを行い、クリスマスの雰囲気を楽しむ
	家族会	27日	他の入所者、家族様との交流を楽しむ
1 月	お茶会	1日	お茶会で新年を祝う
2 月	フロアクッキング	11日	たこ焼きを作り、焼きたてを味わう
	フロアクッキング	18日	お好み焼きを作り、楽しむ
3 月	彼岸法要	20日	物故者法要、入苑者先祖の供養をする

5. 短期入所生活介護事業所まきの苑（ショートステイ）

いつまでも住み慣れた地域で暮らすことは利用者皆様の願いです。そのためには在宅で様々なサービスを利用しながら自立した生活を継続する必要があります。ショートステイを利用される方のご利用の理由は個々に違います。今年度は在宅のケアプランを基に支援をしながら特に馴染みの方や職員と気軽に話せる環境づくりを目指しました。コミュニケーションロボット（パルロ）も仲間に加わり、レクリエーションや1対1のお話し相手で活躍中です。

ご利用の理由（一例）

- ・介護者の介護負担軽減 ・介護者の疾病による介護 ・台風による緊急避難
- ・社会性の維持（孤独の解消） ・入浴利用 ・農繁期における介護力不足

（1）短期入所生活介護事業

年間稼働状況（介護予防含む）

定員	利用延人数	月平均利用人数	平均稼働率	平均介護度
17名	6,457人	538.1人	103.8%	2.5

介護度別利用者延人数

（人）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
694	2,493	1,254	1,313	350	6	6,110

年齢性別状況表

R2.3

年齢 性別	年齢								計	平均 年齢
	～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95～		
男	0	1	0	0	1	3	1	1	7	85.4
女	0	0	1	2	7	11	19	3	43	88.6
計	0	1	1	2	8	14	20	4	50	88.2

(2) 介護予防短期入所生活介護事業

要支援1・2と認定された方が、可能な限り在宅で自立した日常生活を送ることができるよう、入浴・排泄・食事等の介護、その他日常生活上の支援及び機能訓練を行いました。

介護度別年間利用延人数 (人)

要支援1	要支援2	その他	合計
4	334	9	347

年齢性別状況表 R2.3

年齢 性別	～79	80～84	85～89	90～	計	平均年齢
男	0	0	0	0	0	0
女	0	1	1	1	3	89.0
計	0	1	1	1	3	89.0

6. ケアハウスまきの苑

ご入居者が人生の年輪に誇りと安心を持ち、「まきの苑で良かった」と心から思っていただけける施設でありたいと、生き活きと楽しい快適なサービスの提供を目指しました。

それもあって、ご入居者は健康長寿で平均年齢も高くなっていますが、毎朝 30 分の体操には、いつも過半数を超える方々が楽しく参加され、在宅サービス事業所や居宅介護支援事業所等と連携し、皆様の健康状態と能力に応じた日常生活が送れるような支援を行いました。

1. 利用者・家族満足度の向上

(1) 満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善（令和元年 7 月）

満足度 76.0%（満足、大満足の割合）

2. ご入居者からの信頼度の向上

(1) 信頼度の向上

- ・健康維持と健康増進を目指した介護保険サービスの利活用推進
- ・ご入居者との活発な対話と傾聴機会の拡充

3. 経営基盤の安定

(1) 入居率の安定化

- ・入居率 95.4%（前年 95.6%）

(2) 人件費比率抑制維持

- ・人件費比率 27.2%（前年度 27.8%）

4. 業務の改善

(1) 住み続けたくなる施設の創造

- ・「緊急対応の手順」マニュアルによる訓練の実施
- ・毎日の体操や認知症予防等の健康づくりのイベントの実施（毎月）
- ・買い物支援サービスの継続

(2) 働き続けたくなる職場創造

- ・毎日の業務点検と週 1 回の業務協議（実施率 100%）

5. 職員の育成と確保

- ・法人理念や方針の唱和实施率（達成率 100%）
- ・面接ヒアリング：12 回実施（前年度 12 回）

年間利用状況

定員	稼働率 (%)
46 名	95.4%

年齢性別状況表

R2. 3. 31

年齢 性別	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計
男	0	0	1	0	0	2	3	6
女	1	0	0	0	4	13	15	33
計	1	0	1	0	4	15	18	39

在所期間の状況

R2. 3. 31

性別 区分	男	女	計
1年未満	2	9	11
1年以上			
2年未満	0	8	8
2年以上			
3年未満	1	3	4
3年以上			
4年未満	0	2	2
4年以上			
5年未満	1	3	4
5年以上			
6年未満	0	2	2
6年以上			
7年未満	0	0	0
7年以上			
8年未満	0	0	0
8年以上			
9年未満	0	1	1
9年以上			
10年未満	0	2	2
10年以上	2	3	5
合計	6	33	39
最短	3カ月	12日	
最長	10年 4カ月	19年 4カ月	

入居前の住所状況

R2. 3. 31

県内	人数	県外	人数
五條市	24	和歌山県橋本市	3
御所市	1	大分県中津市	1
大和高田市	1	和歌山県伊都郡 かつらぎ町	1
葛城市	1	京都市南区	1
十津川村	1	大阪市平野区	1
野迫川村	1	大阪府泉大津市	1
大淀町	1		
下市町	1		
合計	31	合計	8

要支援・要介護認定の状況

R2. 3. 31

自立	要支援		要介護					合計
	1	2	1	2	3	4	5	
4	6	10	13	6	0	0	0	39

入居者状況表

退居先(老健5人, GH1人, 特養2人, その他3人)

	平成30年度末	平成31年度中の 変動内容		平成31年度末
		退居者	入居者	
男	7	3	2	6
女	32	8	9	33
計	39	11	11	39

年間行事

	行 事
4月	桜見物 草餅作り 馬見丘陵公園チューリップ見学
5月	シャクヤク・ガーデンお花摘み 泉南市花咲ファーム（ローズガーデン）見学
6月	紫陽花見物と食事会 防災訓練
7月	七夕交流会（ハーモニカ演奏会） 柿の葉寿司作り 防災訓練
8月	夏祭り お盆法要
9月	敬老会 彼岸法要 MAKIまつ 防災訓練
10月	胸部レントゲン検診
11月	秋穫祭（うぐいすクラブ出演） インフルエンザ予防接種
12月	クリスマス会 餅つき
1月	初詣とお買物

月間表

区 分	内 容	実 施 日	備 考
クラブ活動	カラオケ	月2回	
	手芸	月1回	
	うぐいすクラブ （コーラス）	毎週水曜日	ボランティア
	絵手紙	月1回	ボランティア
	さえずり会	毎週木曜日	
	健康づくり教室	月1回	
レクリエーション	喫茶	毎週日曜日	
	歌・体操	毎日	
	ドライブ	随時	
	クッキング	月1回	
	ビデオ鑑賞	随時	
	園芸	随時	
整容	散髪	月2回	
売店	売店	月2回	
	パン屋	月1回	
その他	循環バス	毎週火曜日・金曜日	
	健康相談	月1回	

7. 介護老人保健施設ルポゼまきの

地域ケアを支える施設として地域から信頼され、いつでも介護支援が受けられるという安心感をもっていただける「老健」を目指し、併せてご家族や関係機関との連携を強化し、満足度の高いサービスを目指しました。

今年度は、事故や苦情発生の防止に重点を置き、品質の維持向上を図りました。結果、事故・苦情の件数を削減することができました。また、在宅復帰施設として多職種連携による健康管理はもとより、生活機能・運動機能の維持改善をPDCAサイクルに基づいて、自立支援介護を実践しました。

1. 利用者・家族満足度の向上

(1) 共感性を把握し満足度の向上に繋げる

- ・満足度アンケートの実施（令和元年7月）

満足度 74.0%（満足、大満足の割合 前年度比：-10%）

(2) 在宅復帰者の増加

- ・多職種連携で在宅支援に向けたアプローチ

（在宅復帰率 今年度 32%、 昨年度 34% 30%超を維持）

2. 地域の信頼度の向上

(1) 地域との連携強化

- ・家族会（支援）の実施（令和元年9月開催）

- ・地域関係機関への広報活動（情報交換回数 月平均 7.5回）

3. 経営基盤の安定

(1) 収入の確保（年間入所状況表・リハビリ実施状況・入所者介護度状況表参照）

- ・感染症の予防と健康管理

(2) コスト削減

- ・コスト削減 水道光熱費 -685,683円

4. 品質の維持・向上

(1) 安全、快適・効率的な職場をつくる

- ・5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の実践

(2) 事故・苦情発生の防止

- ・サービス品質向上 5視点（正確性・迅速性・柔軟性・安心感・好印象）で取り組む（事故件数 341件（昨年度 390件）・苦情件数 19件（昨年度 42件））

5. 人材育成

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぷらんすいぷす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底
5段階評価にて期中平均4点を維持

(2) 実践スキルの向上

- ・法人・施設内研修受講推進

・全職種専門性に基づいた技術の向上

年間入所状況

定員	入所延人数	1日平均入所者数	稼働率	平均介護度	平均在宅復帰率
80名	27,787人	75.9人	95.0%	2.6	31.6%

※短期入所者、介護予防短期入所者含む

入所者介護度状況

R2. 3. 31

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
男	4	4	4	3	0	1	16人
女	10	14	10	17	3	2	56人
計	14	18	14	20	3	3	72人

年間入退所先状況

入退所先 区分	家庭	医療機関	介護福祉 施設	介護保健 施設	その他	永眠	計
入所者数	357	61	1	2	0	0	421人
退所者数	345	53	17	8	0	0	423人

年齢性別状況表

R2. 3. 31

年齢 性別	40~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	計	平年齢
男	0	1	1	2	2	3	7	16人	86.4
女	0	1	0	4	6	13	32	56人	88.8
計	0	2	1	6	8	16	39	72人	88.3

生活困難者を対象者とする費用の減免等の状況

入所者延数	無料低額入所者数			無料低額入所率
	生活保護対象者	減免対象者	計	
27,787人	1,316人	1,632人	2,948人	10.57%

	フロア	
	午 前	午 後
月	集団リハビリ 音楽レクリエーション (ケアービクス体操)	歩こう会／個別リハビリ／学習療法／レッドコード
火	集団リハビリ (ケアービクス体操)	歩こう会／個別リハビリ／編み物／レッドコード
水	集団リハビリ (ケアービクス体操)	歩こう会／個別リハビリ／書道／レッドコード
木	集団リハビリ (ケアービクス体操)	歩こう会／個別リハビリ／工作／レッドコード
金	集団リハビリ 音楽レクリエーション (ケアービクス体操)	歩こう会／個別リハビリ／手芸／レッドコード
土	集団リハビリ (ケアービクス体操)	歩こう会／個別リハビリ／日常生活リハビリ／レッドコード
日	集団リハビリ (ケアービクス体操)	歩こう会／個別リハビリ／カラオケ／レッドコード

リハビリ実施状況

ご利用者の心身機能の維持・向上を目的に専門職による徒手訓練、ホットパックなどを用いた物理療法、マシーントレーニング、レッドコード等により体力・筋力向上を行い、日常生活動作訓練により身辺動作の維持・向上に取り組みました。

ご入所後早期に集中的なりハビリを実施するため、ご自宅を訪問して得られた情報を基に短期集中リハビリ・認知症短期集中リハビリにて在宅復帰・在宅支援が実現できるように取り組みました。

また、栄養状態の低い方は運動により筋肉量の減少が引き起こる為、リハビリによる身体能力の効果的な増強を目的に、管理栄養士と協働し必要に応じてリハビリ栄養を提供しました。

令和元年度の活動実績

短期集中リハビリ：3,350件

- ・関節可動域訓練 ・筋力トレーニング ・バランス練習 ・立ち上がり練習
- ・屋内外歩行練習 ・屋内外階段昇降練習 ・食事・更衣・入浴・排泄動作練習
- ・起居動作練習 ・床上動作練習 ・食事配膳動作練習 ・自主トレーニング指導

認知症短期集中リハビリ：2,025件

- ・記憶の訓練 ・各種動作認知訓練（姿勢保持・端座位・立位・バランス・歩行・移乗）

疾病別状況表

R2.3

傷病名	人数	傷病名	人数
脳梗塞後（ラクナ・アテロームも含む）	23	慢性C型肝炎	2
脳出血後（くも膜下出血含む）	7	胃癌	2
認知症 （脳血管型・アルツハイマー型含む）	20	慢性胃炎	3
てんかん	3	逆流性食道炎	8
症候性てんかん	2	食道裂孔ヘルニア	4
パーキンソン病	2	胆石症	2
パーキンソン症候群	2	ソケイヘルニア	2
もやもや病	1	憩室炎	2
水頭症	3	虚血性腸炎	3
脳性マヒ	1	直腸癌	2
心不全	13	尿路結石	2
狭心症	8	腎不全	8
大動脈弁狭窄症	2	前立腺肥大症	4
心房細動	6	前立腺癌	1
房室ブロック	2	神経因性膀胱	6
発作性上室性頻拍	1	尿道カルンケルン	1
高血圧	38	乳癌	1
動脈瘤（脳や腹部など）	4	ボーエン病	1
静脈瘤	2	ギランバレー症候群	1
深部静脈血栓症	3	シェーグレン症候群	1
閉塞性動脈硬化症	1	統合失調症	1
突発性血小板減少性紫斑病	1	うつ病	1
低ナトリウム血症	3	網膜はく離	1
低カリウム血症	4	緑内障	2
高カリウム血症	1	白内障（手術後も含む）	13

傷病名	人数	傷病名	人数
高脂血症	13	偽痛風	2
高尿酸血症	4	骨粗鬆症	15
気管支喘息	1	変形性膝関節症	9
慢性気管支炎	1	圧迫骨折（後も含む）	18
糖尿病	13	脊柱管狭窄症	4
甲状腺機能低下症	4	脊椎症	4

日 課 表

時刻	在 苑 者	職 員	勤務時間帯
6:30	起床 バジヤマ着交 洗面・口腔ケア	離床・誘導 洗面介助 バジヤマ着交 義歯確認(装着)	
7:00	水分補給(牛乳) 朝食(8:15~)	水分補給介助 朝食準備・介助・口腔ケア	
8:00	排泄(介助) 整容・水分補給(コヒータム)	排泄介助・環境整備・朝食下膳、片付け 日誌記入・朝食・整容介助	日勤 9:00
9:00	入浴(月~土) 排泄(介助)	朝礼・シーツ交換(月・木)・委員会 排泄介助・入浴介助(月~土)・足浴・爪切り	9:30
10:00	水分補給 集団リハビリ・レク	水分補給介助 洗濯干し リズム体操 嚙下体操etc.	10:00
11:00	個別リハ・手洗い 昼食(11:45~)	嚙下体操・手洗い誘導 昼食介助(11:45~) 義歯確認	10:30
12:00	口腔ケア	口腔ケア・臥床介助・昼食下膳、片付け 排泄介助	
13:00	排泄(介助)	昼食 カンファレンス	
14:00	ラジオ体操・集団レク 入浴(月~土)・個人リハビリ	レク・バイタルチェック・入浴介助 個人リハビリ介助・歩こう会・屋外体操・記録	
15:00	おやつ・水分補給 排泄介助 レッドコード	おやつ・水分補給 会議 排泄介助 レッドコード	
16:00	軽作業 食器拭き 洗濯たたみ	記録(日誌及び個人記録) ゴミ捨て	
17:00	嚙下体操 手洗い	申し送り 手洗い誘導・夜間用ポット配茶	17:00
18:00	夕食 口腔ケア 排泄(介助) バジヤマ着交	夕食介助・口腔ケア・排泄介助・義歯預かり 臥床介助・バジヤマ着交・夕食下膳、片付け	夜勤B18:00 18:00
19:00	排泄(介助)	夕食・下剤調整 オムツ交換	19:00
20:00	水分補給(適宜) 眠前薬服用	水分補給・排泄表確認 投薬	
21:00	消灯	トイレ掃除、床、手すり等 消灯	
22:00		22:30(以降1時間おきの巡回) センサー確認 ※個々に応じてトイレ誘導、体調不良者 体位変換(2時間/毎) チェック(発熱者、高血圧者)	
23:00		ナースコール対応	23:00 B仮眠
0:00			
1:00	随時排泄介助 巡回(1時間/毎)	・日誌記入 ・ファイル記入 ・各書類の準備	1:30
2:00		・ワークステーション整理 ・うがい用コップ ・ティ用コップの消毒	2:00 A仮眠
3:00			
4:00		配茶準備	4:30
5:00	排泄(介助)	排泄介助・衣服着交 ポータブルトイレ、尿器掃除・片付け	

看護業務表

時刻	日 勤	時刻	夜 勤
9:00	朝礼（全体会日のみ） 申し送り	出勤～17:00	情報収集
9:30	医師回診介助	17:00	内服薬点検・血糖測定者の確認（3・4F）
	体調不良者観察		夕の内服薬の準備
10:00	バイタル測定		胃ろう注入（夕食）の手伝い
	排便チェック	17:30	夕食前血糖測定（3・4F）
	点眼・血圧測定・処置利用者入退所対応	17:50	夕食前薬与薬
	注入食者の口腔ケアと注入食の準備	18:20～	夕食配膳 夕食後薬配薬（3F東ユニット）
11:00	胃ろう注入（水分）開始・フロア見守り対応	18:40	フロア見守り 口腔ケア（3F東ユニット）
11:50	入所者昼食・配膳	19:30	口腔ケア物品の消毒
12:00	胃ろう注入 食事介助（西フロア）		フロア待機 見守り
	与薬	20:00	眠前薬の白湯準備 眠前薬投与
	口腔ケア		最終の方が就寝されるまでフロア待機
	注入食者の確認と注入食終了後片づけ 入力	21:00	ナースコール対応
	バイタル測定（必要時のみ）		バイタルサイン測定・記録
	フロア見守り	23:00～1:30	休憩（仮眠）
14:00	処置	1:30	必要な方の体位変換介助
	定期薬分包・医師回診介助		巡視 ナースコール対応
14:30	※適宜 委員会・会議参加及び開催	4:30	オムツ交換
	利用者入退所対応		バルンパック内の尿量測定、性状観察、廃棄
15:30	胃ろう注入者の口腔ケアと注入食の準備	6:00	バイタルサイン測定 採血 血糖測定
	排便チェック・下剤の準備	6:30	胃ろうの方の口腔ケア
16:00	バイタル測定	7:00	胃ろう注入
16:30	胃ろう注入（水分）	7:50	インシュリン注射施行 朝食前薬配薬 採血
17:00	貼布薬対応 点眼	8:00～8:30	朝食事配膳・与薬・食事量入力（東フロア）
	記録（入力）胃ろう注入	8:30～9:00	口腔ケア（3F東ユニット）
	ワークシートチェック	9:00～9:30	記録
18:00	申し送り（配膳・食前薬配薬）		終了
	終了		

週 課 表

		月	火	水	木	金	土	日	備 考
医 師 回 診		○	○	○	○	○			
精 神 科 医 診 察									月 2 回
歯 科 医 診 察				○		○			随 時
シ ー ツ 交 換			○	○	○	○			週 1 回
入 浴	一 般 浴	○	○	○	○	○	○		週 2 回
	リフト浴	○	○	○	○	○	○		週 2 回
	機 械 浴	○			○				週 2 回
集 団 リ ハ ビ リ		○	○	○	○	○	○	○	
レ ク リ エ ー シ ョ ン		○	○	○	○	○	○	○	

月 間 表

区 分	内 容	実 施 日	備 考
レ ク リ エ ー シ ョ ン	お茶会	月 1 回	ボランティア
	朗 読	月 1 回	ボランティア
	絵手紙	月 1 回	ボランティア
	喫 茶	月 1 回	ボランティア
	クッキング・園芸	随 時	
	誕生日会	月 1 回	
	カラオケ	随 時	
	ドライブ・バイク	随 時	
整 容	散 髪	月 2 回	毛染め・パーマは随時
売 店	売 店	月 4 回	
	パン屋	月 2 回	
年間行事	コンサート	年 4 回	ボランティア

年間行事実施状況

月	行 事	実施日	実 施 概 要
4月	花見	2日	季節を感じ他者との交流を図る
	ショッピング（外出）	11日	利用者のモチベーションを高める動機付けとし、活動に必要な物品を自分たちで選び購入する
	公民館祭り（うぐいすクラブ）	13日	五條市開催のイベントに参加、歌クラブの活動として合唱にて出演
	鯉のぼり（ノルディック）	15日	季節を感じながら、屋外を歩行する
	ピクニック（5万人の森）	21日	季節を感じながら屋外で昼食を楽しむ
	まきの保育所 お花見交流会	24日	季節を感じながら園児達との交流を図る
	吉野川フェスタ	29日	五條市開催のイベントに参加し、地域との交流を図る
5月	バーベキュー	8日	季節を感じながら、屋外で食事を楽しむ
6月	紫陽花園（恋野）	21日	季節を感じ楽しみながら、歩行機会を持つ
7月	七夕交流会（牧野保育所）	9日	地域のイベントに参加し、交流を図る
8月	まきのDE盆踊り	3日	地域との合同夏祭りに参加 模擬店・盆踊り・花火で暑さを忘れ、家族と夏を楽しんでいただく ボランティア・地域住民との交流
	フロア夏祭り	20日	利用者と一緒に屋台の準備や料理をする事で、達成感や楽しみを感じていただく
9月	敬老会	8日	正和会行事に参加し敬老を祝う
	家族会	8日	家族との交流を深める
	新町きつねの森フェス	22日	地元のイベントに参加し、地域と交流を図る
10月	西中体育大会	5日	地域の方との交流、西中体育大会を見学
	大衆演劇観劇	11日	演劇を楽しんでいただく
	市民レクリエーション大会	13日	五條市の運動会を見学し、地域との交流を図る
	RUN 伴 2019	20日	RUN 伴に参加し、地域との交流を図る

月	行 事	実施日	実 施 概 要
11 月	五條市文化祭	2 日	地域の行事に参加し、交流を深める
	秋穫祭	3 日	屋台に参加し、秋の祭を楽しんでいただく
	西中合唱コンクール	8 日	地域の方との交流、西中合唱コンクールを見学
	西中ふれあい体験	14 日 15 日	学生との交流を図る
12 月	まきの保育所クリスマス会	12 日	園児との交流を図る
	クリスマス会・忘年会	20 日 23 日	季節の行事を楽しんでいただく
1 月	新年祝賀会	1 日	新年の挨拶を含め全員で新年を祝う
	初詣	3 日 4 日	今年 1 年の健康祈願
	十日戎(宵戎)	9 日	今年 1 年の健康祈願
2 月	節分	3 日	季節の行事を楽しんでいただく
	バレンタイン喫茶	14 日	季節を感じていただく
3 月			感染症対策にて実施できず
毎月	誕生会	1 回	誕生月のご利用者を他のご利用者と共にお祝いする
	手芸	随時	他者との交流を図りながら趣味活動を楽しんでいただく
	書道		
	カラオケ		
	喫茶		

8. 認知症対応型共同生活介護事業所グループホームシャルルまきの

ホームでは「特別ではない普段の生活を大切に自分らしく暮らせる家」の理念を職員一同が踏襲し、認知症で不安を抱えるご入居者が住み慣れた地域で生活を継続することができ、安心して過ごせるようご家族や地域の方々の協力を得ながら支援を行いました。

引き続き、地域密着型施設として運営推進会議や家族会のご意見を受け、ご利用者・ご家族の皆様に安心していただける施設運営に努めます。

1. 入居者・家族満足度向上

(1) 満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施と改善（令和元年7月）
満足度 91%（満足、大満足の割合 昨年度 88% +3%）
- ・入居者会議の開催と反映（ほぼ毎月開催）
- ・家族様との連携
家族会 令和元年9月実施（11名出席）

2. 地域からの信頼度向上

(1) 地域との交流

- ・外部への広報活動（イベント参加）：五條市文化祭
- ・多世代との交流：秋穫祭

3. 経営基盤の安定

(1) 収入の確保（今年度実績 97%）

- ・法人内・他事業所との連携強化
- ・入院者の減少（体調管理・プラス10の活動の実施）

4. 業務改善

(1) 業務の効率化

- ・業務内容の見直し（タイムスケジュールの見直し実施）

(2) 介護サービスの質の向上

- ・認知機能維持の取り組みと評価（個人毎に計画）
- ・外部評価目標達成計画の実施
NPO法人カロア 第三者評価事務局（令和元年11月実施）
- ・リスク管理の徹底

5. 人材育成・職員の定着

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぷらんすいぷす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底
（達成率 93% 昨年度 88%）

(2) 専門スキルの向上

- ・勉強会の定期開催 ・資格取得支援

年間稼働状況

定員	入居延人数	1日平均入居人数	稼働率	平均介護度
18名	6,404人	17.5人	97.2%	2.2

年齢性別状況表

R2. 3. 31

年齢 性別	60～64	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計	平均年齢
男	0	0	0	0	0	1	1人	97.0才
女	1	1	2	0	5	8	17人	86.9才
計	1	1	2	0	5	9	18人	87.4才

入所者介護度状況

R2. 3. 31

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
男	0	0	1	0	0	0	0	1人
女	0	3	8	5	1	0	0	17人
計	0	3	9	5	1	0	0	18人

入居前の住所状況

R2. 3. 31

市町村	五條市	御所市	橋本市
人数	17	0	1

活動状況

	行 事	その他（地域）
H31. 4月	花見 ドライブ （橋本カントリー、五條裁判所周辺） 毎月誕生会 毎月ホーム便り発行 毎月認知症ケア研修 毎月絵手紙教室 太極拳 コーラス（うぐいすクラブ）	運営推進会議 まきの保育所交流会 大川橋（こいのぼり） ※随時、希望により外出・買い物 手作りマルシェ
R1. 5月	端午の節句 歌謡ショー 外出（希望の場所へ外出） 鯉のぼり見学 家族会 つつじ見学	廃品回収（地元自治会） GH連絡会 音和舎利休 大野屋町家カフェゆるり

	行 事	その他（地域）
6月	紫陽花見学 防災訓練 歌謡ショー 外出	運営推進会議 防災学習 認知症サポーター研修 大野屋写真展 大野屋町家カフェゆるり 手作りマルシェ
7月	七夕 ガーデニング 歌謡ショー かき氷、ゼリー作り	廃品回収（地元自治会） まきの保育所交流会 ご家族様アンケート
8月	盆供養 ひまわり見学（上野公園） まきのDE盆踊り 歌謡ショー かき氷	運営推進協議会 献血 GH連絡会 大野屋町家カフェゆるり 手作りマルシェ
9月	敬老祝賀会 家族会 彼岸法要 防災訓練	弁天宗盆踊り
10月	RUN伴 コスモス見学 クッキング 胸部レントゲン撮影（立位） 歌謡ショー	運営推進会議 福祉と医療の健康フェスティバル 廃品回収（地元自治会） 西中運動会見学 防災学習
11月	秋穫祭 紅葉ドライブ クッキング（つるし柿作り） インフルエンザ予防接種 胸部レントゲン撮影（座位）	五條市文化祭出展 秋穫祭出店（フランクフルト） 音和舎利休イベント 合唱コンクール（五條西中学校） 防災学習
12月	クリスマス会 ゆず茶	運営推進会議 （大野屋ゆるりにて） まきの保育所交流会 防災学習 GH連絡会
R2.1月	初詣 新年会（お寿司） 鏡開き	
2月	節分	運営推進会議（音和舎利休にて） 献血 出前講座（五條西中学校） 廃品回収（地元自治会）
3月	感染症対応の為中止	

日 課 表

時 間	入居者	職 員	勤務時間帯
	起床	起床・洗面介助	
	食事の準備		(7:30)
7:40	朝食	食事・見守り・服薬介助	
	食事の片づけ	食事の片づけ	(8:00)
9:00	部屋の掃除	日勤職員出勤（申し送り）	(9:00) (9:30) (9:00)
	身体活動	バイタル測定	(10:00)
		各部屋チェック	
		身体活動支援	
	入浴（ご希望の時間）	お茶の時間	
	食事準備	食事準備	
12:00	昼食	食事・見守り・服薬介助	
13:00	食事の片づけ	食事の片づけ	(13:00)
	ティータイム	お茶の時間	
14:00	身体活動	身体活動支援	
		おやつ準備	
	入浴（ご希望の時間）	入浴介助	(16:30)
17:00		夜勤職員出勤（引継ぎ）	(17:00)
18:00	食事の準備	食事準備	(18:00)
	夕食	食事・見守り服薬介助	
19:00	食事の片づけ	食事の片づけ	(19:00)
	リラックスタイム	着替え手伝い	
		お茶の時間	
21:00	消灯		
22:00		22時以降 1時間毎の巡回・介助	(22:00) (22:00)
24:00			(仮眠 2.5h)
		* 随時で排泄介助	(仮眠 2h)

9. 地域密着型通所介護事業所まきの苑

五條市介護予防・日常生活支援総合事業（デイサービス）

ご利用者・ご家族・担当ケアマネージャーと連携をとりながら、「社会的孤立感の解消」「自立生活支援」「心身機能維持向上」「家族の介護負担の軽減」を図ることで、いつまでもご自宅での生活を送っていただけることを目的としたケアプランを作成し、サービス提供を行いました。

今年度は満足度向上のため、デイサービスでの活動内容の充実（体操や歩こう会、生活場面での歩行訓練等心機能向上の活動）を重点的に取り組みました。

1. 利用者・家族満足度の向上

(1) 満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善（令和元年7月）
満足度 75.9%（満足、大満足の割合）（前年度比：+10%）
- ・利用者の意欲を引き出す活動
 - ・ポイント制レクリエーション実施（各種ドリル、塗り絵、足こぎペダル等）
（上記活動に参加された方にはポイントを付与、一定のポイントが貯まると景品と交換できる仕組み）
- ・身体機能の維持
 - ・「歩こう会」の実施（毎日）
（音楽に合わせてフロア内を歩行し、四国八十八ヶ所や西国三十三箇所巡りを行う）

(2) 地域信頼度の向上

- ・新規相談・利用に関して、面接～初回利用に至るまでの迅速な対応
(年間件数：39人)

2. 経営基盤の安定

(1) 収入の確保

- ・稼働率維持
 - ・カンファレンスへの参加と居宅介護支援事業所へ空き状況の連絡
 - ・重度者の獲得（平均要介護度 2.0 前年度 平均要介護度 1.8）

3. 業務改善

(1) 業務の効率化

- ・連絡ノートの活用
（その日のデイサービスご利用時の様子を詳しく記載、ご本人、ご家族との連絡や申し送り等に活用）

(2) 品質の維持向上

- ・インボディ評価：インボディ測定件数（50件/月）／フィードバックの実施

4. 人材育成

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぷらんすいぷす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底

（達成率 93%）

(2) 専門スキルの向上

- ・勉強会の開催（1回/2か月 内容：介護保険制度、重度者の介護方法、自立支援介護について）

(3) 生き生きと働ける職場作り

- ・職員面談を随時実施（7月・12月）

<地域密着型通所介護>

年間利用状況

定員	開所日数	年間延人数	1日平均延人数	稼働率	平均介護度
18人	307日	4,215人	562.1人	76.4%	1.9

介護度別利用者延人数

(人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
1,914.75	1,300.25	495.5	389.5	102.25	13	4,215.25

<総合事業>

年間利用状況

定員	開所日数	年間延人数	1日平均延人数	稼働率	平均介護度
18人	307日	1,686人	5.5人	30.5%	0.7

介護度別利用者延べ人数

(人)

要支援1	要支援2	その他	計
160	1,523	0	1,683

季節の行事

4月	お花見（苑内）	10月	秋空の下で たこ焼きパーティー
5月	母の日	11月	秋穫祭、紅葉見学
6月	父の日、買い物ツアー	12月	クリスマス
7月	七夕、買い物ツアー	1月	初詣、新年会
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	<感染症予防のため中止>

レクリエーション実施状況

体操やゲーム・創作活動など、体を動かすことで得られる爽快感や達成感を味わうことに加え、人と人との関わりによって生まれる安心感や喜びなどにより、心身の健康や生活の質を高めることを目的としています。「こころが動けば、体も動く」と言われるように楽しみながら行うことができる活動を各種提供しています。

1：趣味を増やす活動

手芸、折り紙、色鉛筆絵、工作、カラオケ、園芸、クッキング、トールペイント、編物、ネイル

2：身体機能の維持を図る活動

歩こう会、みんなの体操、タオル体操、血液循環体操、軽作業（タオルたたみ）、嚙下体操、音楽・体操、体を使ったレク

3：脳の活性化を図る活動

脳を鍛えるドリル、トランプ、カードゲーム、漢字パズル、頭を使ったレク

4：音楽を楽しむ活動

合唱、音楽鑑賞、カラオケ、楽器演奏

5：健康を増進する活動

身体測定（インボディ）、足湯

6：その他

おやつ作り、お茶の間ゲーム、喫茶、ビデオ鑑賞

五條市受託事業実績

五條市生きがい活動支援通所事業：利用実績無し

事業目的：市内に住所を有する概ね60歳以上の独居老人等で家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所による各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態に陥ることの予防を図る。

五條市外出支援サービス事業：利用実績無し

事業内容：市内に住所を有する概ね 60 歳以上で一般の交通機関を利用することが困難、また、下肢が不自由な高齢者等に対し移送用車輛により、在宅福祉サービスや介護予防、生きがい活動支援通所事業を提供する場所とご自宅の間の送迎サービス。

10. 認知症対応型通所介護事業所まきの苑（デイサービス認知症型）

小さな単位で支援を行い、職員との馴染みの関係を築くことにより、認知症のあるご利用者がゆったりと安心して過ごしていただける空間作りを心がけました。また、運動器具の活用・屋外歩行・外出支援を行い心身の機能の維持・向上を図ることで、ご利用者が主体性を持ち活動できる支援を行うことができました。ご利用者が在宅生活を継続できるようニーズに応じた利用時間の延長・利用日の振り替え・スポット利用による柔軟なサービスの提供を行い、ご家族の介護負担の軽減を図るとともに、ご利用者の利用時の様子を密にお伝えすることでご家族との信頼関係を築くことができました。

1. 利用者・家族満足度の向上

(1) 満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善（令和元年7月）
満足度 78.2%（満足、大満足の割合）（前年比：+4.5%）
- ・家族会開催
開催日：令和元年11月3日 参加人数：1名
- ・柔軟なサービスの提供（利用日の振り替え・利用時間の延長・スポット利用）
サービス提供率：95%（前年比：+35.7%）
（定員を超える日以外は希望通りのご利用を実現）
- ・運動器具の活用・定着
運動器具を使用しリハビリが必要な方については、利用時に継続してリハビリを実施。（実施率：40%）

(2) 地域との繋がり作り

- ・地域のイベントに参加（1回/月） 達成率：35%
- ・運営推進会議開催（2回/年）
開催日：令和元年6月10日 ・令和元年12月2日
テーマ
令和元年6月10日：活動状況報告・令和元年度 事業計画
地域の行事について
音和舎 利休の紹介
高齢者虐待防止について（五條市職員より）
令和元年12月2日：活動状況報告
地域の行事について
『町家カフェゆるり』の紹介
技能実習生について

2. 経営基盤の安定

(1) 収入確保

- ・居宅介護支援事業所への広報活動（毎月）

空き情報とサービス案内を配布 新規利用 10 名獲得

- ・新規利用の相談に対する面接の実施（1 週間以内）達成率 100%

3. 業務改善

（1）ケアの質の向上

- ・各利用者様の短期目標達成に向けた取り組み（短期目標改善率：15%）

（2）統一したケアの提供

- ・マニュアル（断捨離）の実践（1 回/月）

フロア会議で改善策の検討、タイムスケジュールの見直し

（ケア満足度 前年度比：+6.1%）

（3）リスクマネジメント力の強化

- ・ヒヤリハット（58 件）の対策を共有・実施（前年度比：+28 件）

結果：事故件数 前年度比：-33%

4. 人材育成

（1）ヒューマンスキルの向上

- ・毎月テーマを決め勉強会を実施（1 回/月）

テーマ別に担当制を決めフロア会議にて勉強会を実施（前年度 6 回：同回数）

- ・外部研修への参加とフロア会議にて情報共有（年 2 回参加）

（2）『ぷらんすいぷす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底（達成率 100%）

朝礼時に基本行動の読み上げを行い退勤時に自己採点の実施（毎日）

（3）個人の目標・役割を設定しフロア会議で進捗状況の確認（1 回/月）

年間利用状況（介護予防含む）

定員	開所日数	延人数	一日平均利用者数	稼働率（%）	平均介護度
10 人	359 日	2,749 人 (+349 人)	7.7 人	76.6%	2.2

（ ）内は前年度比較増減

介護度別利用者延人数

（人）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
0	0	879	868.75	915.75	26	59.5	0	2,749

レクリエーション実施状況

ご利用者に楽しいと感じる時間を過ごしていただけるよう、週単位でプログラムを計画し、実施しています。

1. 趣味を生かす活動

塗り絵、カラオケ、歌、クッキング、園芸、手芸、編物、絵手紙

2. 身体機能の維持を図る活動

屋外歩行、嚙下体操、歌体操、歩こう会、キャッチボール、風船キック、骨盤底筋体操
運動器具の活用、外出支援

3. 脳の活性化を図る活動

計算ドリル、はめえパズル、ジグソーパズル、図形描写（脳トレ）、エクサドン（太鼓）、
漢字ドリル

1.1. 通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの（デイケア）

要介護者の生活動作改善を目的として、セラピストによる徒手訓練、ホットパックやマイクロ治療器を使った物理療法、サーキットトレーニングによる体力、筋力向上に取り組みました。新規ご利用者はもちろんですが、ご利用者の身体状況に変化があった時にはケアマネージャーと一緒に自宅を訪問し、安全に生活が行えるようにご家族への介助方法の指導、家屋環境の調整を実施致しました。例えば、自宅玄関に手すりを取り付けることでご家族の介助なしで上がり框を昇降できるようになり、外出がスムーズに行えるようになった事例をはじめ、多くの事例を経験することができました。

また、病院退院後早期に集中的なりハビリテーションが必要とされるご利用者を積極的に受け入れる体制作りを行い、医療福祉連携に努めました。その結果、生活機能が向上して通所リハビリテーションを卒業（終了）されるご利用者の数も増えました。

1. 地域との繋がり作り

- ・家族会開催

令和元年11月3日 場所：ラコントレ会議室にて（20名参加）

2. 利用者・家族満足度の向上

（1）満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善（令和元年11月）
満足度71%（満足、大満足の割合 前年度比：+6%）
- ・ケアプラン短期目標改善率20%

3. 経営基盤の安定

（1）収入の確保

- ・各種加算算定件数：短期集中リハビリ算定件数（年間682回 前年度比：-3%）
- ・平均介護度2.1（目標介護度2.2 -5%）

4. 業務の効率化

（1）ケア品質の維持向上

- ・利用状況報告書に代わるものとしてインボディ測定用紙を用いた入力作業の削減（年間残業代 前年度比：-11%）

（2）品質の維持向上

- ・インボディ評価：測定件数 60件/月（前年度同件数）

5. 人材育成

（1）ヒューマンスキルの向上

- ・『ぷらんすいぷす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底（達成率100%）

（2）資格取得者の増員

- ・介護プロフェッショナルキャリア段位制度 1名
- ・介護予防推進リーダー 1名

（3）基礎的な知識、技術、リハビリの視点を入れたケア技術の習得

- ・勉強会の開催（1回/2ヶ月 前年度同回数 内容：介護保険制度、自立支援介護に

ついて)

6. 人材の定着

(1) ストレス源の調査と軽減策の実施

- ・職員面談を随時実施 (14件 前年度比: +16%)

年間利用状況 (介護予防含む)

実施日数	延人数	1日平均利用者数	稼働率
355日	13,426人	37.8人	75.7%

介護度別利用者延人数

(人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
4,430.25	3,153.25	2,032.5	843.25	136.25	0	20,595.5

介護度別利用者延人数 (介護予防)

(人)

要支援1	要支援2	その他	合計
357	2,460	13	2,830

日課表

	ご利用者
9:00	迎え
9:30	健康チェック
10:00	個別リハビリ・レッドコード
10:30	個別リハビリ・レッドコード
11:30	手洗い・口腔体操・昼食準備
12:00	昼食
12:45	口腔ケア・後片づけ
13:00~15:00	入浴
14:00~15:00	グループリハビリ
15:00~15:15	おやつ
15:15~	帰宅準備
15:30	送り

年間行事実施状況

月	行事
4	花見・買い物
5	母の日
6	あじさい見学・外食
7	七夕
8	夏祭り
9	敬老会
10	コスモス見学・買い物
11	紅葉見学
12	クリスマス会・忘年会
1	お正月・初詣
2	節分 (豆まき)
3	雛祭り

レクリエーションの実施内容

4月	誕生日週間・ドライブ(花見)
5月	誕生日週間・手芸・外出・
6月	誕生日週間・歯の衛生週間・ドライブ(あじさい)・外食
7月	誕生日週間・七夕・ドライブ
8月	誕生日週間・ドライブ
9月	誕生日週間・外出
10月	誕生日週間・ショッピング
11月	誕生日週間・紅葉見学
12月	誕生日週間・クリスマス会
1月	誕生日週間・初詣
2月	誕生日週間
3月	誕生日週間

1 2. 訪問介護事業所 音和舎 布乃香（ホームヘルプサービス）

ご利用者からのニーズに迅速な対応ができるよう支援体制の強化を行いました。

また、ヘルパー人員不足の中、皆で協力し合い緊急訪問依頼のある時や介護保険外サービスにも対応し、在宅に於いて安心して自立した日常生活を営むことができるよう支援を行いました。

1. 独居・高齢者世帯などの多様な生活の支援

(1) サービス内容の拡大

- ・保険外サービスとして「あったらいいな」アンケートを実施（回収率 100%）
保険外サービス提供年間 102 人（前年度比：+54 人）

(2) 満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善（令和 1 年 7 月）
満足度 78.5%（満足、大満足の割合 前年度比：+2.8%）

2. 経営基盤の安定

(1) 顧客の確保

- ・他事業所への営業活動（毎月） 事業所訪問達成率：75%
・年 2 回（夏・冬）健康相談実施。（夏 20 件・冬 21 件）

(2) 身体介護のサービス提供確保

- ・スキルの向上
身体介護技術向上の勉強会を開催（12 回/年）
併施設や外部での研修に参加。（介護技術チェック項目向上率 80%）
サービス提供責任者が同行訪問し不安軽減や問題を解決。
(13 件/年→解決率 100%)

3. 業務改善

(1) 業務見直し

- ・記録業務の見直しと改善
ヘルパー各自で記録用紙のチェックをし、事務員と入力業務を分担し業務省力化。
結果：書類にかかる時間 年間 50%軽減

(2) 品質の維持、向上

- ・緊急対応がスムーズに行える体制の構築
情報共有ファイルの作成を行い統一したケアの実施（ファイル作成完成率 100%）

4. 人材育成

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぷらんすいぷす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底
基本行動チェックリストを作成・自己評価を行う
達成率 100% 具体的な行動達成率 前年度比 60%向上
- ・業務マニュアルの行動の徹底
マニュアルの見直しを半年に一回実施（達成率 100%）

介護マニュアルに添った行動が出来ているか毎月チェックを実施

(自己チェック達成率 88%)

・社会人マナーの徹底

(2) 自立支援介護の技術修得

自立支援に繋がるケアの理論と展開の実施 (年 12 回開催)

自立支援介護技術修得度テスト実施 (介護技術チェックリスト項目 B 評価率 70%)

(3) 人材の確保

・登録ヘルパーとの月 1 回の面談を実施 開催率 100%

(4) 責任者の育成

・外部研修に参加 (2 回/年)

年間活動状況 (介護予防含む)

訪問回数	5,201 回	内訳 (時間)	身体介護	1,359.50
サービス提供時間	5,186.8 時間		生活援助	3,827.30

年間介護度別実人数 (要介護)

介護度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	18	18	20	17	18	17	17	15	17	14	15	14	200
要介護2	11	11	9	13	12	10	10	10	10	12	12	12	132
要介護3	1	1	3	4	7	6	6	5	5	4	4	6	52
要介護4	4	4	3	2	2	1	1	1	2	2	2	2	26
要介護5	1	1	1	2	2	3	2	3	2	2	2	1	22
合計	35	35	36	38	41	37	36	34	36	34	35	35	432

年齢性別状況表 (要介護)

R2.3.31

性別 \ 年齢	65~69	70~79	80~89	90~	計 (名)
男	1	0	4	1	6
女	0	5	9	15	29
計	1	5	13	16	35

年間介護度別実人数（介護予防）

月 介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	12	12	11	8	6	6	6	6	6	6	7	7	93
要支援2	13	13	11	13	14	13	12	11	10	11	10	10	141
合計	25	25	22	21	20	19	18	17	16	17	17	17	234

年齢性別状況表（介護予防）

R2. 3. 31

性別 年齢	70～79	80～89	90～	計（名）
男	1	5	0	6
女	1	6	4	11
計	2	11	4	17

13. 居宅介護支援事業所 音和舎 彩羽

ご利用者の心身状況・家庭環境などをアセスメントし、状況に応じてご利用者に選択して頂きながら、多職種連携をスムーズに行うことで、適切な保険医療・福祉サービスが、総合的・効率的に提供される様、ご利用者の立場に立って公正中立にサービス提供を行いました。

<稼働実績> 月平均プラン数 33.5 件/人

1. 地域の方々や行政機関・医療機関・サービス事業所との信頼関係の構築

(1) 地域のネットワークの強化

- ・自立相談支援事業についての勉強会を実施 (2 回/年)

勉強会の内容

5 月テーマ：就労準備支援事業について

6 月テーマ：一時生活支援事業について

(2) 関わる機会の確保

- ・事業所等と交流会の開催を実施できず (0 回/年)

(3) 満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善 (令和 1 年 7 月)

満足度 72.1% (満足、大満足の割合) (前年度比：+1.4 ポイント)

2. 経営基盤の安定

(1) 収入の確保

- ・アンケートから抽出された課題への早期対応 (課題件数 3 件⇒ 改善率 30%)

- ・関係機関との顔の見える関係性の構築

・重度者プラン 31.5% (前年度比：-3.5 ポイント)

・新規依頼時のスムーズな受け入れにて、関係性の構築を図った

(回数：33 件/年)

- ・介護教室・転倒骨折予防教室の開催

・中学校圏域 6 圏域にて開催 (別表参照) (介護教室開催 100%)

(転倒骨折予防教室開催 83%)

3. 業務改善

(1) 業務の効率化

- ・マニュアルに沿った業務の徹底

・既存のマニュアルの見直しを順次実施し、会議で周知を行った (1 件/月)

(2) 品質の維持・向上

- ・自立支援の為に質の良いケアプランの作成

(件数 25 件/年) 前年度比：+5 ポイント

・目標達成可能な自立支援ケアプランを立案していくように意識づけを行った

(毎月 100%)

4. 人材育成

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぷらんすいぷす(正和会基本行動集)』の活用による基本行動の徹底(達成率 89.3%)
- ・業務マニュアルの行動の徹底(1回/月)
既存のマニュアルの見直しを順次実施し、会議で周知を行い満足度向上に繋がった。(ケア満足度 72.1% 前年度比:+1.4%)
- ・社会人マナーの徹底(達成率 100%)
『ぷらんすいぷす(正和会基本行動集)』を活用し実施
- ・職務級行動の徹底 職務級ごとに実施

(2) 専門スキルの向上(技術チェック項目向上率 8% 前年度比:+3%)

- ・介護保険、その他制度の理解
会議にて勉強会を実施(内容については自分で学びたいことを選択)(毎月 100%)

居宅サービス計画(ケアプラン作成)

要介護認定に伴う訪問調査の結果、要介護(1~5)の方々についてどのようなサービスが必要か、ご利用者本人やご家族等と相談の上、適切な在宅または施設サービスが利用できるように計画を立て、それぞれのサービス提供事業者へ連絡調整しました。

年間居宅サービス計画実施件数(平均介護度 2.08)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	71	73	72	71	70	72	71	67	72	73	72	70	854
要介護2	54	59	58	59	61	62	59	63	64	64	56	58	717
要介護3	43	39	36	42	42	39	37	37	39	35	32	34	455
要介護4	18	15	14	14	13	13	15	17	21	17	17	18	192
要介護5	5	4	8	8	8	10	8	7	5	4	6	5	78
合計	191	190	188	194	194	196	190	191	201	193	183	185	2,296

介護予防サービス計画実施件数

五條市地域包括支援センターの受託事業として要支援1、2の方々について可能な限りその居宅において自立した日常生活が営めるよう介護予防サービス計画を立て、それぞれの指定サービス事業者へ連絡調整しました。

年間介護予防サービス計画実施件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	29	25	23	24	25	26	24	24	24	25	25	26	300
要支援2	47	48	48	50	53	54	55	52	47	44	46	43	587
事業対象者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
実施件数	77	73	71	74	78	80	79	76	71	69	71	69	888

要介護・要支援認定申請代行（新規・更新・区分変更）

ご本人やご家族が市役所へ申請に行けない場合、介護支援専門員（ケアマネージャー）が代行申請しています。

要介護認定調査（五條市より受託）

要介護認定の為、各家庭等を訪問し、ご利用者本人の心身の状態などについて聞き取り調査を行いました。

要介護認定調査実施件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施件数	5	6	6	4	7	2	5	7	5	5	5	6	63

五條市介護教室

高齢者が住み慣れた地域で個々に応じた生活が継続出来るよう支援することを目的とし、高齢者の寝たきり予防及び介護者への適切な介護知識、サービス利用の方法などの情報提供を実施しました。

テーマ：「家族が認知症になったときにできること」～初期症状を学んで早期発見・認知症介護の仕方・家族の相談窓口紹介など～

実施日	実施時間	実施場所	参加人数
9月13日	13:00～15:00	宗桧公民館	6名
9月27日	13:00～15:00	宇智公民館	6名
10月11日	13:00～15:00	阪合部公民館	27名
10月25日	13:00～15:00	五條市立老人憩の家	25名
11月15日	13:00～15:00	牧野公民館	23名
11月29日	13:00～15:00	大塔ふれあい交流館	12名

五條市転倒骨折予防教室事業（五條市より委託）

高齢者の心身機能の維持向上に必要な訓練等を通じ転倒または骨折による要介護状態を予防する事を目的とし、機能訓練及び運動指導、日常生活に関する相談や指導などを実施しました。

大塔ふれあい交流館

実施回数	実施日	実施時間	参加人数
1回目	9月5日（木）	13：30～15:00	2名
2回目	9月12日（木）	13：30～15:00	4名
3回目	9月19日（木）	13：30～15:00	4名
4回目	9月26日（木）	13：30～15:00	5名

宇智体育館

実施回数	実施日	実施時間	参加人数
1回目	10月10日（木）	13：30～15:00	24名
2回目	10月17日（木）	13：30～15:00	26名
3回目	10月31日（木）	13：30～15:00	24名

田園体育館

実施回数	実施日	実施時間	参加人数
1回目	11月7日（木）	13：30～15:00	25名
2回目	11月14日（木）	13：30～15:00	26名
3回目	11月21日（木）	13：30～15:00	27名
4回目	11月28日（木）	13：30～15:00	24名

阪合部文化会館

実施回数	実施日	実施時間	参加人数
1回目	12月5日（木）	13：30～15:00	16名
2回目	12月12日（木）	13：30～15:00	13名
3回目	12月19日（木）	13：30～15:00	13名
4回目	12月26日（木）	13：30～15:00	13名

野原老人憩の家

実施回数	実施日	実施時間	参加人数
1回目	1月17日(金)	13:30~15:00	17名
2回目	1月24日(金)	13:30~15:00	19名
3回目	1月31日(金)	13:30~15:00	17名
4回目	2月7日(金)	13:30~15:00	18名

宗唎公民館

実施回数	実施日	実施時間	参加人数
1回目	2月6日(木)	13:30~15:00	24名
2回目	2月13日(木)	13:30~15:00	20名
3回目	2月20日(木)	13:30~15:00	19名
4回目	2月27日(木)	13:30~15:00	19名

* 3月五條東体育館で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止となる。

1.4. 通所介護事業所 音和舎 善

ご利用者が、住み慣れた地域で健康で活動的に暮らせるようにアセスメントに基づく、個別サービス計画の立案、計画とサービスの提供、計画の評価及び見直しといったPDCAに則ったサービスを提供しました。今年度は生活機能向上に取り組み、今まで以上に個別の運動メニューの確立に努めました。家事動作や入浴などの生活機能の延長で趣味の再構築まで発展できた事例もありました。

介護保険外地域貢献事業として開設した音和舎楽フィットネスも今年で4年目に入りました。登録者数は、280名に上り1日に平均50名に利用していただいています。介護予防、健康増進、生活習慣病予防など、日ごろから健康意識が高い方のみならず、地域の集いの場としてコミュニティーの形成に貢献していると実感できるようになりました。

1. 利用者・家族満足度の向上

(1) 満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善（令和1年7月）
満足度 65.5%（満足、大満足の割合）（前年度比：+3.6%）
- ・利用目的をケアプランに反映し、目的達成型プランの徹底
- ・地域貢献係企画の循環バス運営の調整
自宅からバス停の往復循環バスを土日祝日以外、毎日運行
- ・未来塾イベントの調整、準備、広報活動（年19回実施）

2. 経営基盤の安定

(1) 収入の確保

- ・要介護1、2の方の積極的な受け入れ
 - ・法人内利用者へのサービス追加、併用利用の促進（随時）
デイケアからの併用利用件数2件
デイケアからの移行利用者6件
音和舎利休からの移行利用者3件
- ・市内外の居宅支援事業所との連携強化
 - ・新規利用者の獲得に向けた、空き状況とサービスの案内（12回/月）
- ・営業活動の推進
 - ・居宅支援事業所へ空き状況についての案内を毎月訪問し配布
新規照会件数31件 新規獲得件数26件
- ・法人内での連携強化
 - ・在宅部ミーティングで空き情報の共有化（1回/月）

(2) コスト削減

- ・送迎ルートの見直し
送迎表を修正し、配置人数やルートを縮小（毎日）（苦情件数2件 33%↓）
- ・人の有効的な活用で法人内事業所間での人員調整

まきの苑デイ、ルボゼデイケア、E型デイサービスへの応援(9,10,11,12月実施)

3. サービスの質向上

- ・インボディを導入、測定結果に合わせた運動メニューの提供(1回/月)
結果：筋力の維持率 89.4%(内筋力向上 44%)
- ・認知症予防や生活習慣病予防、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの対策に向けた有酸素運動の提供(毎日)
- ・転倒予防に向けた、バランス能力向上の運動と体幹強化の実施(毎日)
体操で立位プログラムを盛り込み、バランス運動を強化

4. 業務改善

(1) 業務の効率化

- ・毎月の残業要因の分析と業務改善：週報で残業確認と改善(残業削減率 71.4%)
- ・断捨離マニュアルによる業務の公平性、効率化の検討(1回/月)
フロア会議でマニュアルの見直し、新たに必要になった手順書の作成を行い
全職員が携帯できるように縮小版を配布(ケア満足度 69.7% 前年度比:+8.8%)

5. リスクマネジメント

- (1) ヒヤリハットの共有：対策を検討・実施(39件/年) (前年度比:+105%)

6. 人材育成

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぷらんすいぷす(正和会基本行動集)』の活用による基本行動の徹底(達成率 100%)
出勤時、基本行動を確認、退勤時に自己採点行を実施。
- ・業務マニュアル、職務級行動の徹底(ケア満足度:69.7%)(前年度比:+8.8%)

(2) 専門スキルの向上

- ・知識習得勉強会の開催(4回/年)
マシントレーニング、プレミアムジムについての実践研修を4ヶ月間かけて職員
全員に対して行う(職員取得度 83%)

利用状況

定員	利用延べ日数	利用延べ人数	稼働率	平均介護度
18名(2部制)	256日	6,438	90.1%	1.6

介護度別利用者延べ人数

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	1,276	2,045	1,651	1,294	142	30	0

季節の行事・イベント実施状況

月	内 容
4月	吉野川川開きフェスタ 金剛寺(ボタン) 御廟(桜)
5月	子安地蔵寺(藤)
6月	恋野あじさい園
8月	まきのDE盆踊り 吉野川祭り 買い物ツアー
9月	5万人の森
10月	道の駅めぐり
11月	杉村公園(菊)
12月	年末餅つき
1月	犬飼寺(初詣)

フィットネスクラブ“楽”

利用状況

登録者数	平均利用人数	平均年齢
285人	50人	71.0歳

トレーニングメニュー

ストレッチ	自転車エルゴメーター
コア体操	ノルディックウォーク
有酸素体操	マッサージ・リラクゼーション
マシントレーニング	ウォーターエルゴメーター
プレミアムジムエクササイズ	柔道整復師の施術

1 5. 通所介護事業所 音和舎 利休

ご利用者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生最期まで続けることができるように市町村が進める「地域包括ケアの実現」に向け、その一助になれるように地域に密着したサービスを提供しました。

役割として、がん予防・認知症予防・腰痛予防、うつ予防などの介護予防に力を入れ取り組みました。

1. 利用者・家族満足度の向上

(1) 満足度の向上

- ・満足度アンケートの実施、改善（令和元年7月）
満足度 75.6%（満足、大満足の割合）

(2) 地域信頼度の向上

- ・地域住民との交流会開催
開催日と内容

8月3日（土）まきのDE盆踊り

屋台や花火を楽しまれる

11月3日（日）秋穫祭

販売品を購入や餅つき大会に参加される

12月28日（土）年末餅つき

地域住民と一緒に年末の餅つきに参加し楽しめる

- ・地域住民へ休日に施設を開放

1回の平均参加人数 フィットネス（37名）・元気ヨガ（5名）

キッズダンススクール（13名）

子供アトリエ（3名）・子供そろばん教室（20名）

歌声サロン（22名）

2. 経営基盤の安定

(1) 稼働率の確保

- ・他事業所との連携を図る件数（毎月12件）
 - ・空き状況の情報共有・サービスの案内（随時）
- ・営業活動実施件数（2019年4月～12月 14件）
 - ・病院訪問・事業所訪問
- ・法人内での情報共有実施回数（毎月1回）
 - ・空き状況の情報共有

(2) 経費の見直し

- ・毎月のフロア会議でかかった経費を周知、意識付け

3. サービスの質の向上

(1) 品質維持

- ・「InBody」(実施率 100%) 「姿勢測定」(実施率 58%)
実施、測定結果後、専門職による評価、運動メニューの提供
- ・病院との連携(受診時、利用状況報告書作成)(件数 65%)
- ・必要マニュアルの確認・追加 確認時期(2019年4月5月6月・2020年1月2月)
追加項目(4項目)
令和元年 7月 送迎時緊急対応マニュアル
8月 感染症利休対応マニュアル
10月 火災発生時の対応マニュアル
11月 マシン操作マニュアル

(2) リスクマネジメント

- ・ヒヤリハットを挙げ情報共有・事故防止につなげる(ヒヤリ件数 31件)

4. 人材育成

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぶらんすいぷす(正和会基本行動集)』の活用による基本行動の唱和、実践
達成率 96%

(2) 専門スキルの向上

- ・知識習得勉強会の開催(毎月実施)

内容

2019・4・29	理想の歩き方 4つのポイント	2019・10・28	お餅が喉に詰まった時の対処法
5・27	レクリエーションとは?	11・22	インフルエンザについて
6・24	汚物処理マニュアル	12・23	TUG 評価(歩行速度)
7・29	水分について	2020・1・27	姿勢測定について
8・26	地域支援における専門職の心得 10ヶ条	2・24	感染症対策について
9・23	動物介在療法・活動について	3・26	第一印象の大切さ

利用状況

定員	利用延べ日数	利用延べ人数	稼働率	平均介護度
20名(2部制)	220日	3,342	76.0%	0.6

介護度別利用者延べ人数

事業対象者	要支援 1	要支援 2
24	1,920	1,398

季節の行事・イベント実施状況

月	内 容
4月	花見（桜・ぼたん）
5月	シャクヤク見学
6月	紫陽花園
7月	バラ園・めっけもん広場
8月	まきのDE盆踊り
9月	梨狩り
10月	国華園
11月	藤岡邸
12月	年末餅つき
1月	初詣
2月	足湯
3月	梅見学

16. 栄養課

今年度は見た目にも彩り良く、美味しく楽しめる食事がどの形態でも提供できるよう努めるとともに、安全でお一人おひとりの状態に合った食事形態を検討し、多職種連携のもと経口維持に取り組みました。

また、引き続き地域の健康相談など食を通して地域の方々と交流し、法人の内外を問わず信頼される栄養課を目指します。

1. 利用者・家族満足度の向上
 - (1) 満足度の向上
 - ・バイキング、実演などの実施
2. 地域信頼度の向上
 - (1) 地域との交流
 - ・在宅介護者、地域住民に向けた栄養、健康相談の実施（18回）
 - ・近隣病院、施設との連携（栄養サマリーの活用、食事形態一覧表の運営）
3. 経営基盤の安定
 - (1) 収入の確保
 - ・誤嚥リスクを減らすための取り組み（食事形態、分量の見直し）
4. 業務改善
 - (1) 業務改善・効率化
 - ・新記録システムの活用
 - (2) 品質の維持向上
 - ・厨房職員との連携
5. 人材定着
 - (1) ヒューマンスキルの向上
 - ・『ぷらんすいぷす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底
達成率100%（昨年度100%）
 - (2) 専門スキルの向上
 - ・外部研修への参加
 - ・勉強会の開催（12回）

一日当たり、給与目標量及び平均給与量

	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	カルシウム (kcal)	鉄 (mg)	レチノール (μ g RE)	VB1 (mg)	VB2 (mg)	VC (mg)
給与目標	1,550	65.0	650	6.0	650	0.90	1.10	100
平均給与量	1,659	64.5	737	11.1	635	0.92	1.16	105

食事形態調べ(特養)

R2. 3. 31

主 食			副 食		
食事形態	人数	%	食事形態	人数	%
ごはん	82	51.6	普通	47	29.6
おにぎり	5	3.1	なごみ	73	45.9
粥	31	19.5	ゼリー	36	22.6
パン	2	1.3	経管栄養	3	1.9
ゼリー	36	22.6			
経管栄養	3	1.9			
合計	159	100.0	合計	159	100.0

*在所 167名 (うち入院 8名)

食事形態調べ(老健)

R2. 3. 31

主 食			副 食		
食事形態	人数	%	食事形態	人数	%
ごはん	56	77.8	普通	57	79.2
おにぎり	1	1.4	なごみ	8	11.1
粥	8	11.1	ゼリー	2	2.8
ゼリー	2	2.8	経管栄養	5	6.9
経管栄養	5	6.9			
合計	72	100.0	合計	72	100.0

*在所 72名

令和2年3月2日～令和2年3月8日

・色の付いている日はフロアで炊飯

常食献立表

	朝食		昼食	夕食	おやつ	
	和食	洋食			常食	糖尿
2 (月)	鮭ぞうすい 小松菜の煮浸し デザート 牛乳	パン ジャム&マーガリン 小松菜のドレッシング和え デザート 牛乳	ごはん さわらの幽庵焼き 山菜の煮物 アスパラサラダ 味噌汁 デザート	ごはん 鳥のうに焼き ツナスパゲッティ きゅうりの酢の物 青汁	もみじまんじゅう	オレンジゼリー
3 (火)	茶かゆ 野菜と麩の煮物 ごま昆布 つけもの 牛乳	パン ジャム&マーガリン チンゲン野菜の洋風炒め デザート 牛乳	海鮮ひなちらし 桜海老のかき揚げ 春野菜の炊き合わせ 青汁 デザート	ごはん 赤魚のおろし煮 高野の煮物 キャベツのゆかり和え 味噌汁	季節の和菓子	ムーンライト クツキライト
4 (水)	おかゆ じゃが芋の煮物 金時豆甘煮 つけもの 牛乳	パン クラムチャウダー デザート 牛乳	ふりかけごはん(半量) 卵とじうどん 平天と大豆の炒め煮 ブロッコリーのカニ和え デザート	ごはん ポークソテー ひじき煮 グリーンサラダ 青汁	どら焼き	とんがりコーン
5 (木)	おかゆ 大根のうま煮 のり佃煮 つけもの 牛乳	パン ジャム&マーガリン 大根サラダ デザート 牛乳	ごはん チンジャオロース ほうれん草煮びたし カマロニサラダ 中華スープ デザート	ごはん カレイの漬け焼き がんもの煮物 白菜の酢の物 味噌汁	ドーナツ	ベビーシュー
6 (金)	しらす雑炊 たまご焼き デザート 牛乳	パン ジャム&マーガリン スクランブルエッグ デザート 牛乳	ごはん 鮭の照焼き さくま芋のクリーム煮 アスパラの梅和え 味噌汁 デザート	ごはん 豚とねぎの煮物 かにしゅうまい きゅうりとセロリの中華和え 青汁	いよかんケーキ	サツポロポテト
7 (土)	おかゆ 白菜のお浸し つけもの たいみそ 牛乳	パン ジャム&マーガリン 白菜のコンソメ煮 デザート 牛乳	ごはん 鶏肉の唐揚げ じゃが芋の煮物 いんげんのおかか和え 青汁 デザート	ごはん サバの塩焼き 卵の花 チンゲン菜のなめたけ和え 味噌汁	マドレーヌ	おにぎりせんべい
8 (日)	茶かゆ ピーマンの煮物 梅びしお つけもの 牛乳	パン ジャム&マーガリン ピーマンの洋風炒め デザート 牛乳	ごはん 太刀魚の照焼き 湯豆腐 もやしナムル 味噌汁 デザート	ごはん 牛肉のしそ炒め 里芋とレンコンの炊き合わせ ブロッコリーのぼん酢和え コンソメスープ	黒糖まんじゅう	マスカットゼリー

17. 総務部

今年度は、実施事業の増加に対応し、事業の円滑な運営と信頼性を確保すべく、基礎業務の見直しと体制構築に取り組みました。

基礎業務の見直しについては、事務員の担当業務を整理し複数人で担当できる体制にすることで、処理能力の向上を目指しました。また、信頼性、透明性を担保すべく内部統制に関する監査を外部団体に依頼、体制構築支援を受けました。数点の指摘がありましたが、改善しました。

各事業所の円滑な運営を支える部門として、毎月の残業時間数や有休取得データを迅速かつ見やすい状態で提供できるように集計方法等を改善すると共に、個人のスキルアップ、資格取得による業務の質の向上に努めました。

1. 利用者・家族満足度の向上

(1) 満足度の向上

- ・窓口アンケートの実施（満足度 93.7%）
- ・広報活動（ホームページ、パンフレット）の充実

(2) 信頼性の確保

- ・請求誤り件数 6 件（前年度 13 件）：改善策の検討及び対応

2. 経営基盤の安定

(1) 収入の確保

- ・各事業所の目標値共有と達成に向けた支援
- ・各事業所に対し統計データの提示（毎月）

(2) 費用削減

- ・物品購入・管理方法の見直し、契約見直し

3. 業務改善

(1) 業務の標準化

- ・既存マニュアルの運用・改善

4. 人材定着

(1) 働きやすい職場環境づくり

- ・有給休暇取得に向けての啓発

5. 人材育成

(1) ヒューマンスキルの向上

- ・『ぶらんすいぷす（正和会基本行動集）』の活用による基本行動の徹底
(達成率 80.5%)

(2) 専門スキルの向上

- ・資格取得件数（2 件）

18. 各種委員会の活動内容と活動実績報告

法人

1. 経営会議

活動内容	法人の運営及び経営の方針を各施設運営に反映させるための施設代表者会議
	中長期目標を決定し当該年度の事業計画を作成実施する
	両施設の運営が円滑に行えるよう施設間の調整を行う
	予算の執行
	就業規則、給与規定、及び各種規定の整備
	職員の意識調査を行い、施設運営に反映する

2. 人事委員会

活動内容	人事に関することの決定機関
	賞与、昇給（減給）、昇格（降格）、昇進、異動等を決定する
	人事考課制度の推進

3. リスク管理委員会

活動内容	看介護事故・苦情相談・財務問題・人材問題・コンプライアンス問題・情報セキュリティ問題を主要リスクと認識し、これに対応した再発防止の取り組みを行う
------	--

4. 防災委員会

活動内容	施設利用者及び職員の安全を図るため、防災計画を立案実施する	
	消防訓練及び防災訓練を実施し、防火・防災に関する職員教育を実施する	
	防災マニュアル、職員緊急連絡網等の整備	
活動実績	6月	避難誘導訓練 防災メール訓練
	7月	避難誘導訓練
	8月	防災メール訓練
	9月	防災訓練
	12月	風水害想定訓練

5. 広報委員会

活動内容	機関誌“ふくろう通信”の編集発行	
	広告・チラシ・パンフレット・ブログの企画、編集、発行	
活動実績	7月	ふくろう通信発行（夏号）
	10月	ふくろう通信発行（秋号）
	1月	ふくろう通信発行（新年号）
	随時	ホームページ、ブログ更新

6. 食事調整会議

活動内容	毎月1回委託業者を交え、食事面での課題や問題点について協議する	
活動実績	毎月	食事調整会議の実施

7. 法人研修委員会

活動内容	新入職員研修をはじめ、職務、勤続年数や役職に合せたキャリアアップをサポートするための施設内研修を企画・実施。	
活動実績	4月	新入職員研修
		役職者研修
		法人の理念と方針
		法令遵守・プライバシーの保護・個人の尊厳
		接遇研修
		介護保険研修
	5月	人事考課研修（考課者）・（被考課者）
		2年目研修
		新入職員研修
		身体拘束等の適正化研修
	6月	感染症予防研修
	7月	新入職員研修
		役職者研修
		普通救命講習
		3年目研修
	事故防止・事故発生時の緊急対応	
	8月	高齢者虐待防止研修
		苦情対応・クレーム初期対応研修
	9月	防災研修
	10月	苦情・クレームとその対応
		ワークライフバランス研修（役職者）
		介護ロボット（マッスルスーツ）講習会
		普通救命講習
		認知症・認知症ケア研修
	12月	メンタルヘルス研修
		高齢者虐待防止研修
		新入職員研修
褥瘡予防研修		
安全運転研修 <五條警察署>		
感染症予防研修		
1月	技能実習生受入研修	
	ワークライフバランス研修（役職者以外）	
3月	看取り研修（WEB）	

8. 衛生委員会

活動内容	職場環境の整備と職員の安全衛生教育の推進	
	健康優良法人に関する取り組み	
	働き方改革関連法に関する取り組み	
	職員の定期健康診断および感染症予防接種の実施	
	職員の腰痛予防に関する事業	
	メンタルヘルスケアに関する取り組み	
活動実績	4月	職員健康診断
	6月	メンタル相談の開始
	7月	健康診断後の有所見者追跡調査
	8月	献血キャンペーン
	9月	保健指導
	10月	職員健康診断（夜間勤務者）
	11月	インフルエンザ予防接種の実施と予防対策
	12月	健康診断後の有所見者追跡調査
		職場巡視の開始
	1月	腰痛実態調査
		緊急感染対策実施
	2月	腰痛検診実施（水本整形外科）
献血キャンペーン		
ストレスチェック実施（ホリスティックコミュニケーション(株)）		

まきの苑

1. 身体拘束廃止委員会

活動内容	高齢者虐待、身体拘束についての理解を深め、防止に向けた啓発活動を行う。また、現状を把握し身体拘束廃止、センサーマットの使用中止に向けた取り組みを行う。	
活動実績	毎月	身体拘束の現状把握と廃止に向けての検討 高齢者虐待、不適切ケアを防止する啓発活動 センサーマット使用中止に向けた取り組み
	5月	「身体拘束廃止に向けて」の法人研修
	12月	「高齢者虐待」の法人研修
	2月	不適切なケア法人研修

2. 事故防止対策委員会

活動内容	事故報告書・ヒヤリハットについて発生件数を集計分析、原因究明し再発防止の対策を行う。また、予防に対する意識を組織全体に浸透させる。	
活動実績	毎月	事故・ヒヤリハットの集計、緊急会議の開催
		各部署 施設点検表を元に点検実施
	年間	誤薬ゼロを目指す取り組みを実施
	7月	法人研修（リスクマネジメント及び事故発生時の緊急対応、苦情対応、権利擁護）

3. 苦情解決委員会

活動内容	ご利用者、ご家族等からの苦情、要望などを把握、分析し迅速な対応を行い施設全体のサービスの向上を図る。	
活動実績	毎月	「声の箱」集計・苦情報告書集計
	5～6月	満足度アンケート内容検討
	7月	満足度アンケート調査をご家族へ郵送
	8月	満足度アンケート調査回収、集計
		ご意見、ご要望についての統計・分析の公表するにあたり対応策を検証
	9月	家族会（満足度アンケート結果報告）
満足度アンケート調査結果をご家族に郵送、各関係部署に報告		

4. 感染予防委員会

活動内容	4のつく日は「予防の日」と定め、流行時期の感染症を予測して積極的な対応に努める。各フロアに関連資料を配布。知識がわかるだけでなく、実際に現場で行動できるよう、シミュレーションを行い、随時、現場の声を反映しマニュアルの検討を行う。	
活動実績	毎月	随時勉強会・手洗い・うがい
	6月	感染症予防について
	8月、10月	インフルエンザ対策・対応について
	12月	感染症予防研修（施設での感染症予防）
	3月	手洗いチェッカー実施

5. 排泄ワーキング・褥瘡予防委員会

活動内容	オムツの使い方を含めた褥瘡予防・対策についての知識を深め、多職種連携のもと、褥瘡発生予防に努めるケアができるように原因を分析し、検討会を行う。	
活動実績	毎月	各フロア褥瘡発生状況報告と原因・対策を発表し検討
		オムツ業者より勉強会開催
		フロアでのパット等の使い方の指導
	年間	褥瘡予防についての勉強会

ルポゼまきの

1. 身体的拘束適性化検討委員会

活動内容	身体拘束実施者の有無及びセンサー使用者の状況を報告し、必要性の有無及び各部署での対応方法・取り組みを検討。	
活動実績	毎月	身体拘束実施者の有無の確認、センサー使用者の状況報告、各部署での対応方法の検討を実施。
	5月	法人研修実施
	10月	施設内研修実施

2. 事故対策委員会

活動内容	事故の原因・問題点を探るためのアセスメントの重要性の啓発を行い、事故対策や予防に対する意識付けと職員の質の向上を図る。また、機器や備品を定期的に点検し、事故予防を図る。	
活動実績	毎月	事故対策の共有
	2月	KYT（危険予知訓練）研修の開催
	随時	1ヶ月以内に同様の事故が発生した場合、緊急事故対策委員会を開催

3. 苦情解決委員会

活動内容	利用者及び家族等関係者からの苦情を受け、内容の検証・解決までの追跡・解決後の再発予防の確認の徹底を図ると共に職員への周知、意識向上に取り組む。	
活動実績	毎月	苦情集計及び改善点の検討や改善対応が継続できているかの検証 声の箱に投函された内容の回答公開
	7月	ご入所者ご家族へのアンケート実施
	8月	ご入所者ご家族へのアンケート回答集計、苦情・要望の年間集計

4. 感染・褥瘡予防対策委員会

活動内容	感染症が発生した際、迅速に動けるよう医師の指示のもと対応方法を検討する。又、感染症等の発生を予防する為の対策を検討し職員に周知徹底を図る。	
活動実績	毎月	各フロア内整理整頓と設備、備品の補充（手指消毒・消毒等） 職員の手洗い・うがいチェック表の確認及び啓発と個別指導 冷蔵庫の清潔と保存状態の確認及び啓発 地域における感染症の情報把握と発信 肺炎予防対策として、歯科衛生士により口腔指導の実施
	6月	感染症予防法人研修実施
	12月	感染症予防法人研修実施
	2～3月	手洗いチェッカー実施
	随時	感染者確認後の感染防止レベル確認等臨時会議開催と伝達

19. ボランティアの活動状況について

定期・不定期に関わらず、さまざまな分野で御協力をいただき、入苑者の方々に「より快適な生活」、「よりきめ細やかなサービス」を提供することができました。

ボランティア登録者数：112名

R2.3月現在

名 称	内 容	登録者数	活動拠点
リーベ茶花	お茶・お花のボランティア・行事のお手伝い	25	全体
RICEファミリー	ゴスペル	1	〃
ボランティアウエルビーイング	行事のお手伝い		〃
五條西中学校	吹奏楽・行事のお手伝い		〃
牧野小学校	金管バンド		〃
牧野保育所	七夕交流会・遊戯		〃
みみずくの会	喫茶・行事のお手伝い	10	まきの苑
田園ボランティアサークル	カフェまきのえん（歌声サロン）	7	〃
大正琴ひまわり	大正琴	4	〃
島田 陽夫	太極拳	1	〃
春名 美雅子	コーラスクラブ	1	〃
中谷 典子	絵手紙	1	ケアハウス
ドリームレオ	ウクレレ演奏・バルーンアート	13	〃 音和舎善
きのこの会	喫茶ふくろう	7	ルポゼ
五條市朗読サークル	朗読	10	〃
ハートスマイル	歌謡コンサート	5	〃
絆	歌・体操	8	〃
ウクレレシスターズ	ウクレレ演奏	8	〃
歌声サロン	昭和歌謡・童話唱歌	7	音和舎利休
秋桜	大正琴	4	〃

(順不同、敬称略)

20. 人事労務管理

(1) 職員配置人数表 (実人数)

R2. 3. 31

職種	事業所／雇用形態	法人本部	まきの苑				ルボゼまきの		音和舎				グループホーム シャルルまきの	合計	(うち男性)	(うち女性)	
			老人福祉施設	短期入所生活介護事業	(一般型) 通所介護事業	(認知症型) 通所介護事業	ケアハウス	老人保健施設	通所リハビリ事業	訪問介護事業 (音和舎布乃香)	居宅介護支援事業 (音和舎彩羽)	通所介護事業 (音和舎善)					通所介護事業 (音和舎利休)
施設長／管理者	正規	1	1									1		3	1	2	
	非正規						1							1	1	0	
計		1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	2	2	
事務員	正規	6	3					3				2		14	4	10	
	非正規	4						3						7	2	5	
計		10	3	0	0	0	0	6	0	0	0	2	0	21	6	15	
介護支援専門員	正規		2					1			3			6	1	5	
	非正規							1			4		1	6	0	6	
計		0	2	0	0	0	0	2	0	0	7	0	1	12	1	11	
相談員	正規		3	1	1			2	1					8	5	3	
	非正規					1	1					3	1	6	1	5	
計		0	3	1	1	1	1	2	1	0	0	3	1	14	6	8	
介護職	正規		41	4	1	2		15	3			2	7	75	42	33	
	非正規		68	1	4	2	4	21	23			3	2	137	112	25	
計		0	109	5	5	4	4	36	26	0	0	5	2	212	154	58	
看護職	正規		3		1			4						8	0	8	
	非正規		16		1			11	1			2	1	32	1	31	
計		0	19	0	2	0	0	15	1	0	0	2	1	40	1	39	
訪問介護員	正規									1				1	0	1	
	非正規									4				4	0	4	
計		0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	0	5	
栄養士	正規		2					3					1	6	0	6	
	非正規		1						1				2	2	0	2	
計		0	3	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	8	0	8	
医師	正規							1						1	1	0	
	非正規		2											2	2	0	
計		0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	
訓練指導員	正規		2					2	5			2		11	10	1	
	非正規							3	7					10	7	3	
計		0	2	0	0	0	0	5	12	0	0	0	2	21	17	4	
介助員	正規				1									1	0	1	
	非正規		9					5	2					16	1	15	
計		0	9	0	1	0	0	5	2	0	0	0	0	17	1	16	
運転手	正規													0	0	0	
	非正規		1		4	2			13			3	1	24	23	1	
計		0	1	0	4	2	0	0	13	0	0	3	1	24	23	1	
薬剤師	正規													0	0	0	
	非正規							1						1	1	0	
計		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	
その他	正規													0	0	0	
	非正規	11	21					12	3					47	20	27	
計		11	21	0	0	0	0	12	3	0	0	0	0	47	20	27	
正規職員		7	57	5	4	2	0	31	9	1	3	5	2	8	134	64	70
非正規職員		15	118	1	9	5	6	57	50	4	4	11	4	11	295	171	124
合計		22	175	6	13	7	6	88	59	5	7	16	6	19	429	235	194
(うち男性)		6	52	2	5	5	1	27	29	0	1	6	3	3	140		
(うち女性)		16	123	4	8	2	5	61	30	5	6	10	3	16	289		

(2) 職員配置人数表 (常勤換算)

R2. 3. 31

職種	事業所／雇用形態	法人本部	まきの苑				ルボゼまきの		音和舎				グループホーム シャルルまきの	合計	
			老人福祉施設	短期入所生活介護	通所介護事業 (一般型)	通所介護事業 (認知症型)	ケアハウス	老人保健施設	通所リハビリ事業	訪問介護事業 (音和舎布乃香)	居宅介護支援事業 (音和舎彩羽)	通所介護事業 (音和舎善)			通所介護事業 (音和舎利休)
施設長／ 管理者	正規	0.9	1				0.1					1		3	
	非正規						1							1	
	計	0.9	1	0	0	0	1	0.1	0	0	0	1	0	4	
事務員	正規	6	3				3					2		14	
	非正規	3.6					2.4							6	
	計	9.6	3	0	0	0	5.4	0	0	0	0	2	0	20	
介護支援 専門員	正規		2				1				3			6	
	非正規						0.6				2.7		0.5	3.8	
	計	0	2	0	0	0	1.6	0	0	0	5.7	0	0.5	9.8	
相談員	正規		3	1	1		2	1						8	
	非正規					1	1				1.2	1		4.2	
	計	0	3	1	1	1	2	1	0	0	1.2	1	0	12.2	
介護職	正規		41	4	1	2	15	3				2	7	75	
	非正規		43	0.9	3	1.8	2.7	12.4	10.3			1.5	1.1	4.3	
	計	0	84	4.9	4	3.8	2.7	27.4	13.3	0	0	3.5	1.1	11.3	
看護職	正規		3		1		4							8	
	非正規		6.7		0.4		3.9	0.7			0.9		1	13.6	
	計	0	9.7	0	1.4	0	7.9	0.7			0.9	0	1	21.6	
訪問介護員	正規									1				1	
	非正規									2.4				2.4	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	3.4	0	0	0	3.4	
栄養士	正規		2				3						1	6	
	非正規		0.5				0.4							0.9	
	計	0	2.5	0	0	0	3	0.4	0	0	0	0	1	6.9	
医師	正規						1							1	
	非正規		0.4											0.4	
	計	0	0.4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1.4	
訓練指導員	正規		1				2	5				1	1	10	
	非正規						1.1	1.6						2.7	
	計	0	1	0	0	0	3.1	6.6	0	0	1	1	0	12.7	
介助員	正規				1									1	
	非正規		4.6				2.1	0.9						7.6	
	計	0	4.6	0	1	0	2.1	0.9	0	0	0	0	0	8.6	
運転手	正規													0	
	非正規		0.5		2.3	1.1		6.9			1.8	0.5		13.1	
	計	0	0.5	0	2.3	1.1	0	6.9	0	0	1.8	0.5	0	13.1	
薬剤師	正規													0	
	非正規						0.3							0.3	
	計	0	0	0	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0	0.3	
その他	正規													0	
	非正規	4.3	11.2				6.6	0.8						22.9	
	計	4.3	11.2	0	0	0	6.6	0.8	0	0	0	0	0	22.9	
正規職員		6.9	56	5	4	2	0	31.1	9	1	3	6	1	8	133
非正規職員		7.9	66.9	0.9	5.7	3.9	4.7	29.4	21.6	2.4	2.7	5.4	2.6	5.8	159.9
合計		14.8	122.9	5.9	9.7	5.9	4.7	60.5	30.6	3.4	5.7	11.4	3.6	13.8	292.9

(3) 年度別有給休暇取得率一覧

各年度の有給休暇取得率の算定期間：10月～翌年9月

(%)

		本部	特養	ショート	デイ	デイE	ケアハウス	老健	デイケア	音和舎 布乃香	音和舎 彩羽	音和舎 善	GH	居宅M	全体
H26年度	正職員	80.0	43.3	35.1	64.2	42.5	0.0	41.0	76.7	0.0	30.8	75.0	35.0	86.7	46.5
	パート	69.2	70.2	47.0	81.1	82.6	54.9	69.3	81.2	95.5	/	14.9	43.3	/	71.0
	合計	73.4	57.4	39.2	77.1	64.0	54.9	54.1	80.0	95.5	30.8	39.9	38.4	86.7	59.9
H27年度	正職員	64.8	44.3	69.7	57.1	20.0	/	51.5	73.4	2.5	29.2	17.5	42.9	64.2	48.7
	パート	263.2	70.5	64.1	67.0	233.3	39.9	65.7	94.9	117.5	0.0	50.0	60.5	/	76.7
	合計	142.8	58.0	67.0	64.5	142.6	39.9	58.2	89.4	60.0	29.2	35.2	50.4	64.2	63.6
H28年度	正職員	56.6	49.4	15.0	104.3	70.0	/	35.8	49.0	/	43.8	22.5	53.9	/	46.2
	パート	106.7	87.8	55.8	80.3	267.5	62.3	75.2	85.8	96.8	60.0	64.0	56.3	/	80.4
	合計	93.7	66.3	42.8	87.0	168.7	62.3	54.3	76.5	96.8	44.4	54.9	54.8	/	65.2
H29年度	正職員	68.8	31.3	13.8	100.0	21.3	/	47.9	30.8	/	38.5	25.0	85.8	/	41.8
	パート	148.9	60.0	100.0	64.2	58.8	19.9	61.6	74.5	58.8	81.8	53.6	65.9	/	64.4
	合計	114.2	46.2	62.1	72.8	44.9	19.9	54.6	59.9	58.8	42.8	48.7	76.3	/	54.3
H30年度	正職員	76.1	66.9	114.2	84.3	39.7	/	53.7	38.7	0.0	38.3	21.6	53.7	音和舎 利休 47.5	60.4
	パート	96.2	76.2	38.8	121.8	49.2	19.2	88.3	67.6	167.1	31.9	94.7	121.4	44.2	79.5
	合計	89.9	71.9	87.7	109.7	45.8	19.2	70.7	60.6	114.7	35.5	64.2	81.3	45.2	71.3

※平成26年度の音和舎のみ、平成26年12月～平成27年9月までの10ヶ月間で算出しています。

(4) 年度別超過勤務実績一覧

(時間)

	本部	特養	ショート	デイ	デイE	ケアハウス	老健	デイケア	音和舎 布乃香	音和舎 彩羽	音和舎 善	GH	居宅M	計
H27年度	542.25	4532.75	391.25	407.75	23.50	186.00	2056.25	636.25	12.50	26.50	88.00	251.75	54.25	9209.00
(1名当)	6.03	4.53	4.77	3.78	1.96	5.17	4.46	4.61	0.52	0.74	3.67	1.91	1.51	4.22
H28年度	613.00	4750.75	212.00	493.25	11.75	147.25	1707.00	467.25	21.75	126.75	100.25	390.00	25.25	9209.00
(1名当)	11.35	5.95	5.05	6.32	0.98	12.27	4.31	7.66	0.91	4.09	4.18	3.90	0.70	5.61
H29年度	1182.50	6008.75	800.00	184.75	31.50	220.25	1138.75	733.25	8.75	160.25	105.00	149.75	/	10723.50
(1名当)	12.72	6.47	11.11	1.48	1.17	5.51	2.71	5.02	0.36	2.67	8.75	1.25	/	
H30年度	1276.25	5069.00	448.25	138.50	77.50	240.00	1489.00	836.75	50.50	122.00	367.75	148.25	音和舎 利休 24.00	10287.75
(1名当)	11.93	5.78	7.35	1.34	1.80	6.67	3.42	5.33	1.49	2.03	11.14	1.34	2.40	
R元年度	1434.00	6267.75	615.00	257.50	259.50	481.00	2366.75	742.25	47.00	125.25	461.25	93.50	音和舎 利休 24.00	13174.75
(1名当)	13.28	7.37	13.98	3.53	5.19	13.36	5.70	4.79	1.96	2.61	7.95	0.77	0.96	

(5) 年齢階層別一覧

直接処遇職員（医師・介護職・看護職・相談員・訓練指導員・ヘルパー）

R2.3.1

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計(人)	平均年齢(才)
正職員	0	15	28	42	18	2	0	105	40.9
パート	1	12	31	53	38	47	9	191	49.6
合計	1	27	59	95	56	49	9	296	46.5

その他の職員（介護支援専門員・栄養士・事務員・運転手・宿直員・清掃員）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計(人)	平均年齢(才)
正職員	0	5	7	11	6	0	0	29	40.7
パート	0	0	5	5	11	59	24	104	63.4
合計	0	5	12	16	17	59	24	133	58.4

全体

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計(人)	平均年齢(才)
正職員	0	20	35	53	24	2	0	134	40.8
パート	1	12	36	58	49	106	33	295	54.5
合計	1	32	71	111	73	108	33	429	50.2

(6) 勤続年数階層別一覧

直接処遇職員（医師・介護職・看護職・相談員・訓練指導員・ヘルパー）

R2.3.1

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合計(人)	平均勤続年数(年)
正職員	8	17	11	10	5	54	105	9.7
パート	23	42	24	18	20	64	191	6.9
合計	31	59	35	28	25	118	296	7.9

その他の職員（介護支援専門員・栄養士・事務員・運転手・宿直員・清掃員）

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合計(人)	平均勤続年数(年)
正職員	3	3	3	4	1	15	29	10.3
パート	16	24	23	15	5	21	104	5.1
合計	19	27	26	19	6	36	133	6.2

全体

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合計(人)	平均勤続年数(年)
正職員	11	20	14	14	6	69	134	9.9
パート	39	66	47	33	25	85	295	6.3
合計	50	86	61	47	31	154	429	7.4

(7) 育児・介護休業取得状況

育児・介護休業取得者

2019年度中

	男	女	計(人)
育児休業取得者(人)	2	1	3
介護休業取得者(人)	0	0	0

育児・介護休業復帰者

2019年度中

	男	女	計(人)
育児休業復帰者(人)	2	5	7
介護休業復帰者(人)	0	0	0

(8) 資格取得状況一覧表

R2. 3. 31

資格状況	法人本部	まきの苑					ルボゼまきの		音和舎					グループホーム	合計
		老人福祉施設	事業	短期入所生活介護(一般型)	通所介護事業(認知症型)	通所介護事業	ケアハウス	老人保健施設	通所リハビリ事業	訪問介護事業(音和舎布乃香)	居宅支援事業(音和舎彩羽)	通所介護事業(音和舎善)	通所介護事業(音和舎利休)		
医師		2					1								3
理学療法士		1					2	9							12
作業療法士							2					1			3
歯科衛生士		2					1			1					4
薬剤師							1								1
保健師		1													1
看護師		13		1			9	1			2		1	27	
准看護師		6		1			5							12	
社会福祉士		5	1	1			3			1	1		1	13	
介護支援専門員	1	17	1	1	2	1	9	5	2	7	3	2	4	55	
介護福祉士		54	4	3	3	1	19	10	3	6	4	2	9	118	
社会福祉主事	1	8	2	1	2	1	6	4			1			26	
ヘルパー1級		4					1	1			1			7	
ヘルパー2級		48	2	4	1		17	4	4	2	2	2	7	93	
管理栄養士		2					3	1					1	7	
栄養士		1					2			1				4	
産業医							1							1	
衛生管理者	1	4					1	1			1			8	
危険物取扱者		3						2			1			6	
防火管理者	1	2		1							1			5	
認知症介護指導者研修		1												1	
認知症高齢者GII管理者研修	1	1						1			1	1	1	6	
認知症介護実践研修(リーダー)		1		1	1		1	1					2	7	
認知症介護実践研修	1	6	2	1	1		2	2	1		1	1	3	21	
認知症ケア専門士		1												1	
エッセイリーダー研修		5					2				2		1	10	
実習指導者(看護婦)研修		2									1			3	
健康運動指導士								2			1			3	
言語聴覚士		1					1	1						3	
合計	6	191	12	15	10	3	89	45	10	18	23	9	30	461	

2 1. 外部研修派遣状況

2019度中

日付	研修名	日数	参加者
H31.4	奈良県老人保健施設協議会総会	1	2
"	介護経営セミナー	1	3
"	新規ユニットリーダー研修実地研修施設募集説明会	1	3
R1.5	学習療法導入施設 施設責任者の会	1	1
"	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	1	1
"	奈良県老人福祉施設協議会通常総会	1	2
"	福祉サビスマナー研修	1	1
"	役員賠償責任・リスク管理対策セミナー	1	1
"	五條市介護保険事業所協議会 総会	1	3
"	リハビリ部門分科会	1	1
"	接遇指導者養成講座	1	1
"	特別養護老人ホームにおける看取りと連動した新たな収益事業創設と社会福祉法人の経営戦略	1	1
R1.6	栄養分科会	1	1
"	OJT担当者実践研修	1	1
"	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	1	1
"	実地研修	1	1
"	南和地域在宅医療研修会	1	3
"	介護福祉士ファーストステップ研修	1	1
"	保険外サービス事業化と経営戦略セミナー	1	1
"	介護保険事業所説明会	1	2
"	老人保健施設 管理医師研修会	1	1
R1.7	認知症介護実践者研修	5	1
"	介護老人保健施設リスクマネジャー 資格認定制度	1	1
"	介護支援専門員分科会	1	1
"	日本自立支援介護学会 学術大会	1	2
"	介護福祉士ファーストステップ研修	1	1
"	近畿老人福祉施設研究協議会	1	3
"	介護支援相談員分科会	1	1
"	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	2	2
"	栄養士研究会	1	1
"	看護・介護分科会	1	1
"	コーチング研修	1	1
R1.8	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	3	1
"	認知症介護実践者研修	2	2
"	奈良県栄養士会 研究発表会・特別講演会	1	2
"	介護福祉士ファーストステップ研修	1	1
"	技能実習生及び高度人材の採用手法・育成方法公開セミナー	1	2
"	管理・運営分科会	2	1
R1.9	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	1	1
"	栄養ケア・マネジメント研修会	1	1
"	認知症介護実践者研修	3	4
"	介護福祉士ファーストステップ研修	1	1
"	近畿ブロック介護老人保健施設大会	1	4

日付	研修名	日数	参加者
R1.10	認知症介護実践者研修	4	3
"	介護職員実践講座	1	2
"	老人保健施設 管理医師研修会	1	1
"	接遇インストラクター養成講座	1	1
"	新入社員フォローアップ研修	1	1
"	南和地域感染症対策連絡会	1	3
"	介護福祉士ファーストステップ研修	1	1
"	通所リハビリテーション分科会	1	1
"	小濱道博先生による最新介護セミナー	1	3
R1.11	介護職員実践講座	1	3
"	エッセイ研修フォーラム	1	2
"	接遇インストラクター養成講座	1	1
"	サービスの質向上研修	1	3
"	アセッサー講習	1	1
"	対人援助技術研修	1	1
"	施設における災害時福祉支援研修会	1	1
"	南和地域在宅医療研修会	1	3
"	介護福祉士ファーストステップ研修	1	1
"	ストレスマネジメント研修	1	1
"	技能実習責任者講習	1	1
"	栄養士研究会	1	1
"	産業医の安全配慮義務について	1	1
"	介護リスクマネジメントセミナー	1	1
"	家族からのヘビークレームの対応策セミナー	1	2
"	VR認知症体験会	1	13
"	吉野保健所特定給食施設等関係職員研修会	1	1
R1.12	対人援助技術研修	1	1
"	認知症介護実践者研修	1	3
"	奈良県老人保健施設協議会	1	2
"	接遇インストラクター養成講座	1	1
"	メディカルケアサポートセミナー	1	1
"	奈良県老人福祉施設研究会議	1	2
"	介護福祉士ファーストステップ研修	1	1
"	介護福祉士ファーストステップ研修情報交換会	1	1
"	「日本人の食事摂取基準」研修会	1	2
R2.1	奈良県高齢者虐待防止研修会	1	2
"	接遇インストラクター養成講座	1	1
"	認知症との共生のために	1	4
"	奈良県高齢者虐待防止研修会	1	1
"	介護職員実践講座	1	2
"	支援相談員 分科会	1	1
"	アセッサー講習	1	1
R2.2	接遇インストラクター養成講座	2	1
"	通所リハビリテーション計画 立案・実践研修会	1	1
"	栄養分科会	1	1

日付	研修名	日数	参加者
R2.2	南和地域包括支援センター連絡会講演会	1	1
"	南和地域在宅医療研修会	1	4
"	南和地域感染症対策連絡会	1	1
"	新型コロナウイルス感染症研修会	1	1
"	ユニットケア・コンビニフォーラム	1	2
R2.3	管理・運営分科会	1	2
"	高齢者施設栄養士の会	1	1
"	施設介護支援専門員研修	1	3
"	五條病院と地域をつなぐ会	1	4